

# 令和7年度 「学校を核とした地域力強化プラン」

地域学校協働本部事業 地域未来塾事業

## 実践事例集



彦根市教育委員会

# 目 次




<b>1 彦根市の事業概要と経緯・取組</b>	1	
<b>2 各校の地域学校協働本部事業の取組</b>		
東中学校	学校を応援！～地域で育む子どもたちの主体性～	10
城東小学校	「城東ちょこっとボランティア」さんとともに創る城東っ子の主体的な学び	11
佐和山小学校	学校と佐和山応援隊の双方向連携で、佐和山っ子の確かな育ちを	12
旭森小学校	地域と学校のつながりを生かし、学びの活性化と支援の充実を図る	13
西中学校	地域とともに「瞳輝く西中健児」を育てる取組	14
城西小学校	地域に根ざした学校をめざして	15
城北小学校	地域に学び、人・もの・自然への愛着心を育てる『城北のすてき見つけ隊！』	16
中央中学校	地域・公民館とともにある SCHOOL SUPPORT	17
平田小学校	豊かな子を育み、地域とつながる学校づくり	18
金城小学校	地域の力でつくる子どもたちの豊かな学習活動	19
南中学校	彦根南サポートオフィス 14年目の取組 共に助け合う関係づくりをめざして	20
城南小学校	つながりが生み出す豊かな学び	21
城陽小学校	つなげよう 子どもを育む地域の力～地域の力で学びを深める～	22
若葉小学校	「子どもたちの笑顔のために」チームわかバンク 10年目の取組	23
亀山小学校	ふるさとを愛し、ふるさとに学ぶ「We Love かめやま」	24
彦根中学校	負担にならない、新時代の学校支援を目指して	25
河瀬小学校	見る、聞く、体験する、地域に支えられて育つ「河瀬っ子」	26
高宮小学校	地域に学び、人に学び、つながりに学ぶ	27
鳥居本中学校	地域と学校を結ぶ鳥居本学園の協働活動	28
鳥居本小学校	「ふるさとと共に生きる喜びを」～地域と共に～	29
稲枝中学校	地域の未来につなぐ学校支援	30
稲枝東小学校	子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動	31
稲枝西小学校	「ALL はえみ」地域とともに、学びの充実をめざして	32
稲枝北小学校	ふるさとに誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成	33
<b>3 各校の地域未来塾事業の取組</b>		
東中学校	自分らしさを輝かせる、あたたかな学びの場	34
城東小学校	それぞれの「〇〇したい！」にあった支援で、学力アップ！	34
佐和山小学校	個に応じた学習支援～地域で育てる 佐和山っ子～	35
西中学校	「進路を拓く学力向上推進活動」来たれ！地域未来塾	35
城西小学校	基礎・基本の定着をねらいとした学習支援	36
城北小学校	夏休みきらり学習教室～個別指導による学力補充学習～	36
中央中学校	子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所づくり 来てみる・やってみる	37
南中学校	地域と学校がつなぐ、未来への学びの場「水曜ゼミ」	38
亀山小学校	個に応じた学力補充教室（算数科を中心として）	38
彦根中学校	自ら学び、根気強くやりぬく生徒の育成を目指して	39
河瀬小学校	できたを実感！九九マスター教室	39
鳥居本中学校	地域と学校を結ぶ鳥居本地域未来塾	40
鳥居本小学校	輝く笑顔 一人一人の「わかった！」をめざして	40
稲枝中学校	生徒と指導者、生徒同士で教え合い、学び合う態度を培う学習塾	41
稲枝東小学校	子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動「かがやき教室」	41
稲枝西小学校	わくわく はえみ学習	42
稲枝北小学校	「できる・分かる」楽しさと喜びを味わわせ、子どもたちの学意欲を高める	42
<b>4 資料</b>		
学校運営協議会の充実に向けて（改訂版）	43	
彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員会設置要綱	50	
令和7年度彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員名簿	52	
令和7年度彦根市地域学校協働活動推進員名簿	53	

## 彦根市の事業概要と経緯・取組について (地域学校協働本部事業 地域未来塾事業)

### □事業の概要

- ・幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を推進し、学校と地域との連携体制の構築を図る。
- ・地域住民が自らの経験や知識を活かす場として、自己実現や生きがいづくり、地域の人材活用・活性化など、地域づくりにつなぐ。
- ・地域未来塾では、小学生・中学生を対象に放課後や土曜日等に教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施する。この取組で学力向上を図るとともに、さまざまな要因により、学習習慣が身につけていない小・中学生への支援にもつなげる。
- ・7中学校区支援地域協議会（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）に委託して実施する。
- ・令和6年度から「地域学校協働本部事業」の1メニューとして家庭教育支援（子育てに困り感や課題がある小学校児童の家庭の保護者を対象にした支援等）を実施し、親子に関する問題の解決を目指す。

### □取組の経緯・取組

- ① 平成20年度～平成22年度 3年間の文部科学省委託事業  
平成20年度 東、稲枝 市内2中学校区で事業が始まる。  
平成21年度 東、西、鳥居本、稲枝 市内4中学校区に拡大実施  

- ② 平成23年度から 市の事業（国・県・市 1/3ずつ負担） 市内全7中学校区で実施  

- ③ 平成24年度
  - ・市内7中学校区支援地域協議会（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）
  - ・予算 4,734,000円（補助金3,156,000円）
  - ・実行委員会の開催（年3回）
    - 7月31日（火）10:00～11:30 事業説明・実践交流
    - 11月29日（木）14:00～16:00 研修会・実践交流
    - 3月1日（金）14:30～16:30 実践のまとめ・振り返り
  - ・H24年度の取組重点
    - 地域協議会の活性化 学習支援活動を全ての小中学校で実施
  - ・学校訪問11月 7中学校区訪問  

- ④ 平成25年度
  - ・市内7中学校区支援地域協議会  
（従来型／東・西・南・彦根・鳥居本 いじめ対応型／中央・稲枝）
  - ・予算 4,583,000円（補助金3,055,000円）
  - ・実行委員会の開催（年3回）
    - 構成委員：15名＋事務局（生涯学習課長、主幹、学校教育課長、副主幹）
    - 8月2日（金）14:00～15:30 事業説明・実践交流
    - 11月28日（木）9:30～11:30 研修会・実践交流
    - 3月4日（火）9:30～11:30 実践報告・振り返り
  - ・H25年度の取組重点（継続）
    - 地域協議会の活性化 学習支援活動を全ての小中学校で実施

- ・学校訪問 11月 7 中学校訪問 学校支援地域本部事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認



⑤ 平成 26 年度

- ・市内 7 中学校区支援地域協議会  
(従来型/東・西・南・彦根・鳥居本 いじめ対応型/中央・稲枝)
- ・予算 4,613,000 円 (補助金 3,075,000 円)
- ・実行委員会の開催 (年 3 回)  
構成委員: 15 名 + 事務局 (生涯学習課長、主幹、学校教育課長、副主幹)  
8月 4 日 (月) 14:00~15:50 事業説明・実践交流  
11月 26 日 (水) 9:30~11:40 研修会・実践交流  
3月 2 日 (月) 9:30~11:30 実践報告・振り返り
- ・H26 年度の取組重点 (継続)  
地域協議会の活性化 学習支援活動を全ての小中学校で実施
- ・学校訪問  
11月 7 中学校訪問 学校支援地域本部事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・平成 26 年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰  
被表彰団体; 彦根市学校支援地域本部  
12月 8 日 (月) 文部科学省東館 3 階講堂 (東京都千代田区霞が関 3-2-2)



⑥ 平成 27 年度

- ・市内 7 中学校区支援地域協議会  
(従来型/東・西・南・彦根・鳥居本 いじめ対応型/中央・稲枝)
- ・予算 4,633,000 円 (補助金 3,075,000 円→2,226,000 円)
- ・実行委員会の開催 (年 3 回)  
構成委員: 15 名 + 事務局 (生涯学習課長、主幹、学校教育課長、副主幹)  
8月 4 日 (火) 9:30~11:30 事業説明・実践交流  
11月 30 日 (月) 9:30~11:30 研修会 (TKJ 演習)・実践交流  
2月 25 日 (木) 14:00~16:00 実践報告・振り返り
- ・H27 年度の取組重点 (継続)  
地域協議会の活性化 学習支援活動を全ての小中学校で実施
- ・学校訪問  
11月 7 中学校訪問 学校支援地域本部事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認



⑦ 平成 28 年度

- ・市内 7 中学校区支援地域協議会 (東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝)
- ・学校支援地域本部事業予算 4,632,000 円 (補助金 3,088,000 円)
- ・土曜学習支援事業予算 450,000 円 (補助金 300,000 円)
- ・実行委員会の開催 (年 2 回)  
構成委員: 15 名 + 事務局 (生涯学習課長、主幹、学校教育課長、副主幹)  
7月 12 日 (火) 9:30~11:30 事業説明・実践交流  
2月 9 日 (木) 9:30~11:30 今年度の実践報告 次年度に向けて
- ・コーディネーター連絡会の開催 12月 22 日 (木) 14:00~16:00
- ・H28 年度の取組重点 (継続)  
地域協議会の活性化 学習支援活動を全ての小中学校で実施  
学校支援に学校と地域の連携・協働活動を加える。
- ・学校訪問

10月～11月 7中学校訪問  
学校支援地域本部事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認



⑧ 平成29年度

- ・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 4,410,000円（補助金2,895,000円）
- ・地域未来塾事業予算 2,295,000円（補助金1,530,000円）
- ・実行委員会の開催（年2回）
  - 構成委員：18名＋事務局（生涯学習課長、主幹、学校教育課長、主査）
  - 7月14日（金） 9:30～11:30 事業説明・実践交流
  - 1月29日（月） 14:00～16:00 今年度の実践報告 次年度に向けて
- ・H29年度の取組重点
  - 学校と地域の連携・協働活動の推進
  - （学校と地域の連携強化 地域のネットワークの拡充）
- ・学校訪問
  - 10月～11月 7中学校と若葉小学校訪問
  - 地域学校協働本部事業と地域未来塾事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・コーディネーター研修会および連絡会の開催
  - 12月22日（金） 14:00～16:00
  - 講師 湖南省立菩提寺小学校地域コーディネーター兼学校運営協議会理事 安部 正毅 氏 「地域コーディネーターに必要なこと」



⑨ 平成30年度

- ・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 4,464,000円（補助金2,976,000円）
- ・地域未来塾事業予算 2,351,000円（補助金1,567,000円）
- ・実行委員会の開催（年2回）
  - 構成委員：18名＋事務局（生涯学習課長、主幹、学校教育課長、副主幹）
  - 7月13日（金） 14:30～16:30 事業説明・実践交流
  - 1月28日（月） 14:00～16:00 今年度の実践報告 次年度に向けて
- ・H30年度の取組重点
  - 地域学校協働活動と地域未来塾の推進
  - コミュニティ・スクールを視野に入れた地域と学校の連携強化とネットワークの拡充
- ・教頭研修会
  - 7月9日（月） 10:30～11:30 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に係る研修
- ・学校訪問
  - 10月～11月 7中学校と若葉小学校、稲枝西小学校を訪問
  - 地域学校協働本部事業・地域未来塾事業とコミュニティ・スクール推進事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・コーディネーター連絡会の開催
  - 12月21日（金） 14:00～16:00 コミュニティ・スクールの実践報告と情報交流



⑩ 令和元年度

- ・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 3,336,000円（補助金2,224,000円）
- ・地域未来塾事業予算 2,211,000円（補助金1,474,000円）

- ・実行委員会の開催（年2回）
  - 構成委員：19名+事務局（生涯学習課長、主幹、学校教育課長、主査）
  - 7月4日（木）14:30～16:30 事業説明・実践交流
  - 1月27日（月）14:00～16:00 今年度の実践報告 次年度に向けて
- ・令和元年度の取組重点 地域学校協働活動のさらなる充実
  - 「支援」から「連携・協働」へ、「個別の取組」から「総合化・ネットワーク化」へ
  - コミュニティ・スクールを視野に入れた地域と学校との連携
- ・学校訪問
  - 10月～12月 7中学校と若葉小学校、稲枝西小学校を訪問
  - 地域学校協働本部事業・地域未来塾事業とコミュニティ・スクール推進事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・コーディネーター研修会の開催
  - 12月19日（木）14:00～16:00
  - 滋賀県コミュニティ・スクールアドバイザー 北辺禎雄氏
  - 「コミュニティ・スクールを視野に入れた地域と学校の連携・協働活動について」



#### ⑪ 令和2年度

- ・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 2,645,000円（補助金1,763,000円）
- ・地域未来塾事業予算 1,956,000円（補助金1,304,000円）
- ・実行委員会の開催（年2回）
  - 構成委員：19名+事務局（学校教育課長、副主幹、生涯学習課長、主幹）
  - 6月18日（木）書面会議（事業説明資料を送付） 7月2日（木）まとめを送付
  - 1月26日（火）14:00～16:00 WEB会議 今年度の実践報告・次年度に向けて
- ・令和2年度の取組重点 地域学校協働活動のさらなる充実
  - 「支援」から「連携・協働」へ、「個別の取組」から「総合化・ネットワーク化」へ
  - コミュニティ・スクールを視野に入れた地域と学校との連携
- ・学校訪問
  - 10月～11月 7中学校と若葉小学校、城北小学校、稲枝西小学校を訪問
  - 地域学校協働本部事業・地域未来塾事業とコミュニティ・スクール推進事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・県のモデル事業として「家庭教育支援事業」がスタート 湖南市と彦根市
  - 佐和山小・旭森小学校の家庭教育支援地域協議会に委託
  - 家庭教育支援事業予算 518,000円（補助金 345,000円）
  - 第1回 家庭教育支援事業運営委員会 8月5日（水）14:00～15:45
  - 第2回 家庭教育支援事業運営委員会 2月10日（水）14:00～15:45



#### ⑫ 令和3年度

- ・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 2,456,000円（補助金1,637,000円）
- ・地域未来塾事業予算 2,482,000円（補助金1,655,000円）
- ・実行委員会の開催（年2回）
  - 構成委員：19名+事務局（学校教育課長、副主幹、生涯学習課長、主幹）
  - 6月11日（木）書面会議（事業説明資料を送付）6月22日（木）まとめを送付
  - 2月上旬 書面会議 今年度の実践報告・次年度に向けて
- ・令和3年度の取組重点 地域学校協働活動のさらなる充実

「支援」から「連携・協働」へ、「個別の取組」から「総合化・ネットワーク化」へ  
コミュニティ・スクールを視野に入れた地域と学校との連携

- ・学校訪問  
10月～11月 7中学校と若葉小学校、城北小学校、稲枝西小学校を訪問  
地域学校協働本部事業・地域未来塾事業とコミュニティ・スクール推進事業の進捗状況の把握、今後の取組の確認
- ・家庭教育支援事業 旭森小・佐和山小に加え城東小学校にも拡充  
家庭教育支援事業予算 673,000円(補助金424,000円)  
第1回 家庭教育支援事業運営委員会 7月12日(月)10:30～12:00  
第2回 家庭教育支援事業運営委員会 2月21日(月)10:00～11:45



⑬ 令和4年度

- ・市内7中学校区(東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝)と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 2,354,000円(補助金1,569,000円)
- ・地域未来塾事業予算 2,390,000円(補助金1,593,000円)
- ・実行委員会の開催(年2回)  
構成委員:19名+事務局(学校教育課長、副主幹、生涯学習課長、主幹)  
5月20日(金)書面会議(事業説明資料を送付)6月21日(火)会議のまとめを送付  
1月27日(金)「Teams」によるWEB会議 14:00～15:45  
研修動画の視聴 本年度の取組の交流  
ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有
- ・令和4年度の取組重点  
地域学校協働活動のさらなる充実  
「支援」から「連携・協働」へ、  
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を目指して～
- ・教頭会研修会 6月27日(月)10:30～11:30  
「地域とともにある学校づくり ～ミライを見据え、今からできること～」松田 幸夫氏
- ・学校訪問  
10月～11月 7中学校と若葉小学校に加え、  
学校運営協議会設置校・令和5年度「学校運営協議会」導入予定校  
(城南小学校、稲枝東小学校、稲枝北小学校、亀山小学校、城西小学校、城北小学校)  
計14校の訪問  
地域学校協働本部事業・地域未来塾事業とコミュニティ・スクール推進事業の進捗状況の把握、「学校運営協議会」設置に向けた課題の共有
- ・コミュニティ・スクールの充実・促進を図るための研修会 2月22日(水)城西小学校
- ・家庭教育支援事業 旭森小・佐和山小に加え、金城小・平田小学校にも拡充  
家庭教育支援事業予算 486,000円(補助金324,000円)  
第1回 家庭教育支援事業運営委員会 7月19日(火)10:30～12:00  
第2回 家庭教育支援事業運営委員会 2月21日(火)10:00～11:45



⑭ 令和5年度

- ・市内7中学校区(東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝)と若葉小学校の支援地域協議会
- ・地域学校協働本部事業予算 2,057,000円(補助金1,371,000円)
- ・地域未来塾事業予算 1,607,000円(補助金1,071,000円)
- ・実行委員会の開催(年2回)

構成委員：19名+事務局（学校教育課長、生涯学習課長、主幹、主査）

第1回 6月23日（金）14：00～14：45

各校の特徴的な取組の交流

第2回 1月29日（月）13：45～15：30

各校の実践に学ぶ 取組交流と次年度に向けた意見交流

「Teams」によるWEB会議 ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有

・第1回 彦根市学校運営協議会研修 7月14日（金）～ オンデマンド型の動画配信研修

「コミュニティ・スクールの基礎・基本」

・広報ひこね10月号 「コミュニティ・スクール」の特集記事の掲載

・市教委担当による学校訪問 10月～11月（計13校）

地域学校協働活動の推進状況の把握

学校運営協議会導入に向けた指導助言

・彦根市地域学校協働活動推進員研修会 11月2日（木）15：30～16：45

「地域学校協働活動推進員の果たす役割」

県教育委員会 CSアドバイザー 伊藤 照男 氏

・第2回彦根市学校運営協議会研修 11月28日（火）15：30～16：30

「対話のある学校 地域協働で大切な視点（熟議）」

県教育委員会 CSアドバイザー 松田 幸夫 氏

・第3回 彦根市学校運営協議会研修 2月22日（木）15：50～16：50

「コミュニティ・スクールを導入・充実させていくために」

県教育委員会 CSアドバイザー 伊藤 照男 氏

・家庭教育支援事業 旭森小・佐和山小・金城小・平田小学校に加え、城南小学校にも拡充

家庭教育支援事業予算 798,000円（補助金532,000円）

第1回 家庭教育支援事業運営委員会 7月13日（木）10：00～11：45

第2回 家庭教育支援事業運営委員会 2月26日（月）10：00～11：45

取組状況の交流、本事業の推進方策の検討や家庭教育支援についての情報交換

・家庭教育支援員連絡協議会の開催 11月17日（金）9：30～11：45

各校の実践と取組の交流

グループワーク「つながりにくい家庭に対する支援について」

講師：滋賀県 SSW SV（スクールソーシャルワーク スーパーバイザー）上村 文子 氏



## ⑮ 令和6年度

・市内7中学校区（東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝）の支援地域協議会

・地域学校協働本部事業予算 1,731,000円（補助金1,154,000円）

・地域未来塾事業予算 1,197,000円（補助金 798,000円）

・実行委員会の開催（年2回）

構成委員：16名+事務局（学校教育課長、生涯学習課長、主幹、主査）

第1回 6月28日（金）15：00～16：45 ※「Teams」によるWEB会議

各校の地域学校協働活動の取組の交流

事務局からの説明

全体交流

・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとのつながりや一体的な推進の視点を踏まえ交流

ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有

<討議の柱>

・地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（学校運営協議会）との一体的推進に向けて

①第1回学校運営協議会を終えて

②学校職員と地域連協働活動推進員の役割分担について

第2回 1月30日(木) 15:00~16:45 ※「Teams」によるWEB会議

各校の実践に学ぶ(事務局より紹介)

取組交流と次年度に向けた意見交流

**全体交流**

・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて意識して取り組まれたこと

・地域学校協働活動の取組成果や課題

**ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有**

<討議の柱>

- ①事前に必ず打ち合わせをして、会議の方向性を確認する際の工夫(開催前)
- ②当事者意識を持って「熟議」に参加できる進め方などの工夫(会議中)
- ③「熟議」のテーマや学校教育目標、目指す子ども像等を委員が意識できる工夫(会議中)
- ④「熟議」を具体的な地域学校協働活動につなげるような工夫(開催後)
- ⑤地域に積極的に発信し、活動の輪を広げる工夫(開催後)

・彦根市地域学校協働活動推進員研修会 11月12日(火) 15:20~16:45

講演「CSと地域学校協働活動の一体的な推進」のために

～「熟議」を明日からの活動につなげよう～

講師:滋賀県CSアドバイザー 松田 幸夫 氏

グループ協議

・学校訪問

7月~2月 市内全小・中学校(24校)を訪問

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向け、各学校運営協議会の状況を把握し、伴走支援にあたる。

⑩ 令和7年度

・市内7中学校区(東・西・中央・南・彦根・鳥居本・稲枝)の支援地域協議会

・地域学校協働本部事業予算 1,884,230円(市単独331,730円含) 補助金 1,035,000円

・地域未来塾事業予算 1,197,000円(市単独414,000円含) 補助金 522,000円

実行委員会の開催(年2回)

構成委員:16名+事務局(学校教育課長、生涯学習課長、主幹、主査)

第1回 6月24日(火) 10:00~11:45 ※「Teams」によるWEB会議

事務局からの説明

**全体交流**

・コミュニティ・スクールとの一体的推進の視点を踏まえ交流

**ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有**

<討議の柱>

・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて

- ①第1回学校運営協議会を終えて
- ②一体的推進のゴールから見た現状について

第2回 1月30日(金) 10:15~12:00 ※「Teams」によるWEB会議

各校の実践に学ぶ(事務局より紹介)

取組交流と次年度に向けた意見交流

**全体交流**

・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて意識して取り組まれたこと

・取り組まれた地域学校協働活動の成果や課題

**ブレイクアウトルームを活用したグループ交流と全体共有**

<討議の柱>

- ①当事者意識を持った「熟議」等、意識を高める工夫（会議の中で）
- ②「熟議」を具体的な地域学校協働活動（地域の様々な財の活用を含む）につなげる工夫（会議の中で、会議後に）
- ③地域に積極的に発信し、活動の輪（新たな人材）を広げる工夫（会議の前後で）
- ④望まれる地域学校協働活動推進員の役割や資質（その他）

・彦根市地域学校協働活動推進員研修会 11月14日（金）15：20～16：45

講演「CSと地域学校協働活動の一体的な推進」

～推進員の困りごと、解決策をみんなで考えよう～

講師：滋賀県CSアドバイザー 山元 尚美 氏

グループ協議

CSアドバイザーに聞いてみよう！（困りごとや悩み相談）

・学校訪問

7月～2月 重点中学校ブロックを決め、該当中学校ブロックの小・中学校（計9校）を訪問。

令和7年度重点中学校ブロック

- ・中央中学校ブロック（小学校2校 中学校1校）
- ・鳥居本中学校ブロック（小学校1校 中学校1校）
- ・稲枝中中学校ブロック（小学校3校 中学校1校）

重点中学校ブロックの各校に地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向け、年2回（原則：第2回学校運営協議会および熟議をもとにした地域学校協働活動）の傍聴および視察し、状況を把握して、適切な伴走支援にあたる。

**彦根市のこれまでの取組**

・地域学校協働活動関係

・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）関係

年度	内容	年度	内容
H20	・文部科学省委託事業 東中、稲枝中学校区	H20	
H21		H21	
H22		H22	
H23	・市事業（国・県・市が1/3ずつ負担）市内全7中学校区	H23	
H24		H24	
H25		H25	
H26		H26	
H27		H27	・市立学校の学校運営協議会の設置等に関する規則
H28		H28	・若葉小
H29	・市事業（国・県・市が1/3ずつ負担）市内全7中学校区と若葉小	H29	
H30	（地域学校協働本部事業 地域未来塾事業）	H30	・稲枝西小
H31		H31	
R2	・県モデル事業「家庭教育支援事業」佐和山小、旭森小	R2	・城北小、西中
R3	・家庭教育支援事業 城東小、佐和山小、旭森小	R3	・鳥居本学園（小・中）
R4	金城小、平田小を追加	R4	・城南小、稲枝東小、稲枝北小
R5	城南小を追加	R5	・城西小、城陽小、亀山小、稲枝中
R6	・市事業（国・県・市が1/3ずつ負担）市内全7中学校区	R6	・城東小、平田小、佐和山小、旭森小、金城小、河瀬小、
	（地域学校協働本部事業<家庭教育支援含> 地域未来塾事業）		高宮小、東中、中央中、南中、彦根中

## 彦根市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

### ■目指す姿

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるため、幅広い地域住民等の参画を促す。一人ひとりが当事者意識を持って「地域学校協働活動」を推進し、「地域の子は地域で守り育てる」機運を高める。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、学校や地域の諸課題の解決を通じて地域のつながりを強化するとともに活性化を図り、地域住民の生涯学習・自己実現に資するものとする。

### ■本年度の具体的活動

- ・地域学校協働活動推進事業実行委員会の開催(年2回)

第1回 日時:6月24日(火) 10時00分～11時45分

テーマ:地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて

第2回 日時:1月30日(金) 10時15分～12時00分

テーマ:一体的推進のための手立てや工夫、課題を交流しよう

- ・市役所本庁舎市民ロビーにおける展示

期間:10月10日(金)～10月24日(金)

内容:コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- ・彦根市地域学校協働活動推進員研修会

日時:11月14日(金) 15時20分～16時45分

内容:講演「CSと地域学校協働活動の一体的な推進」

～推進員の困りごと、解決策をみんなで考えよう～

滋賀県教育委員会 CSアドバイザー 山元 尚美 氏

情報交流「CSアドバイザーに聞いてみよう!(困りごとや悩み相談)」

- ・重点中学校ブロック(本年度:中央中学校区、鳥居本中学校区、稲枝中学校区)を決め、市教委担当による学校運営協議会および地域学校協働活動の視察(該当校につき年2回) 5月～2月



【地域学校協働活動推進員研修会】

### ■本年度の力点

- 学校運営協議会の運営強化

・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進の実現に努める。

- 地域との連携強化

・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進が、「魅力ある彦根市づくり」の一助となるよう、市民の主体的な参加を促すため、広報活動について地区公民館等との連携に努める。

- 関係者の資質向上

・一体的推進のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員をはじめ、関係者の資質向上に向け、効果的な研修機会の充実を図る。

### ■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

- ・市民が主体的に関わるためのさらなる機運醸成。
- ・多様な学校運営協議会委員の選出や地域学校協働活動推進員の人材発掘。
- ・持続可能な取組のための財源確保。

### ■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

- ・市内全小・中学校において、1～2名の地域学校協働活動推進員を配置し、教育委員会が委嘱した。本年度は、35名の地域学校協働活動推進員を委嘱した。

### ■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

- ・昨年度、市内の全小・中学校(24校)において学校運営協議会の導入が完了した。公立の幼稚園については、学校と協働・支援する組織はあるものの、学校運営協議会を立ち上げるまでには至っていない。

## 学校を応援！ ～地域で育む子どもたちの主体性～

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:50人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・第1回(4月25日)  
CS立ち上げ2年目。昨年度の熟議、具現化した取り組みの共有と今年度の取組に向けての意見交流。地域学校協働本部との一体化、子どもが主体であるために「どんな学校にしたいか」の熟議。
- ・第2回(6月19日)  
東中ブロックの「目指す生徒像」の共有、子どもたちの活躍の場の提供について。
- ・第3回(11月10日)  
PTAとの連携、各地域行事における中学生ボランティアの参加状況。地域とのつながりを深めるための手立て、自己決定の場の提供について。
- ・第4回(2月13日)  
CS2年目の総括、学校評価書の総括、3年目に向けて。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①夏の環境整備作業…地域、保護者、生徒、教職員による協働活動(除草作業)
- ②読み聞かせ(朝読書)…地域ボランティアによる活動(年3回全学級にて実施)
- ③図書室の新刊整理…読書活動支援員と地域・保護者ボランティアによる作業
- ④2年生校外学習引率支援…班別活動、施設見学の際の安全見守り
- ⑤未来塾の準備・運営・片付け…活動場所の準備や地域ボランティアと学校・生徒とのスケジュール調整
- ⑥特別支援学級の野外活動支援…活動場所(彦根プレーパーク)の提供と活動(火起こし、焼き芋、自然体験)支援
- ⑦「応援&おしゃべり DAY」の設定(毎月第3木曜日)…地域ボランティアによる校舎内・周辺環境整備作業等
- ⑧校内研究会のバックアップ…校内研究における講師の招致、当日の参加・講師紹介、講演会の案内等



【「応援&おしゃべり DAY」チラシ】

### ■ 事業の成果・展望

教職員の負担軽減を念頭に、地域学校協働活動推進員が動いてくださり、学校として助かる場面が多かった。その一方で、清掃センターの予約や搬出など、どうしても学校が仲介せざるを得ない業務もあり、学校行事等との調整が難しいこともあった。

今年度の10月から設定いただいた「応援&おしゃべり DAY」では、チラシやtetoru配信の内容も地域学校協働活動推進員が考えてくださり、校舎内外の環境整備等を進めていただいた。まだ始まったばかりの取組ではあるが、今後、保護者の参加を増やすための工夫や内容を検討し、持続可能な取組として定着させたい。

校内研究会では、地域学校協働活動推進員の紹介により講師を招き、本校の研究テーマ「学びを支える効果的なICTの活用」に沿った講義・演習を実施した。当日までの日程調整や他の講演会情報の共有などもしていただき、教職員の学びにつながる貴重な機会となった。

今後は、地域学校協働活動推進員との連携をさらに強化し、学校と地域が一体となって教育活動を支える仕組みを構築していきたい。



【校内研究での講師紹介】

### ■ その他

活動の様子は学校ホームページに掲載。

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/higashi-jh-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(担任・学年主任・地域連携担当教職員・読書活動支援員)

報告書記入者(教頭)

## 「城東ちょこっとボランティア」さんとともに創る城東っ子の主体的な学び

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	城東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:75人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・今年度は、第2回の学校運営協議会を夏季休業中に開催し、全教職員が参加した。そして、3つのグループに分かれて、日頃の学校や地域での子どもの様子等を情報交換した。また、教職員からボランティア等で協力してもらいたいことや2学期以降にしようと考えている活動について共有した。教職員は、地域で子どもが挨拶をしていること等を聞いて、学校での取組の成果を実感したり、逆に気になる点について聞くことで、2学期以降の指導に生かしたりすることができた。

・地域のサマースクールで、どんなイベントをするか話し合う際、今までと違い自分たちで準備会を計画したり、具材等も自分たちで話し合っ決めてたりと積極的に活動していた。子どもたちの意欲を大切に学習が活かされていると感じた、という話を地域の委員の方から聞いた。

・「放課後の地域での過ごし方が心配だ。」という声を聞いた。放課後、子どもたちが安全に過ごせる場所が少ないことや、SNSを使ったトラブル、コンビニ等への出入りやお金の使い方等、気になる行動を地域でも、学校でも把握することがあった。お互いに気になることがあれば共有していきたいと話した。



【 ミシンボランティアによる支援 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・2、3年の生活科、総合的な学習の時間、社会科等の町探検
- ・4年生のやまのこ学習でのサポート(ウォークラリー、焼杉)
- ・新体力テストの補助
- ・高学年家庭科の学習サポート(ミシン、調理実習)
- ・お話ブーケによる読み聞かせ
- ・図書ボランティアによる図書室の整備
- ・特別支援学級の校外学習サポート(いもほり、苗の買い物等)

### ■ 事業の成果・展望

・毎年、それぞれの学年で行う学習において、担任は変わっても内容が同じだと、地域学校協働活動推進員から声をかけてくださったり、同じ内容でも新しい人材やお店を探してくださったりして、安定して同じ学習を進めることができている。特に、本校に初めて赴任した教職員にとっては、地域のことがわからないので、地域学校協働活動推進員を通じて安心して地域の人とつながることができる。

・スクールガードや読み聞かせ等、様々な場面で子どもと関わってくださることで、子どもたちも安心して学校生活を送れるだけでなく、地域でも知っている大人が多いことで「見守ってくださっている」という安心感やあいさつをする等、あたたかい関わりができるようになってきている。登下校の際に、子どもから「ありがとうございます。」「お疲れ様です。」等と声をかけてくれることがあり、うれしかったという報告を受けた。また、保護者の方もボランティアの方の名前を知ってくださり、子どもを通じて、保護者にまでつながっていることを実感できた。



【 図書ボランティアによる季節の飾り 】

### ■ その他

- ・地域学校協働活動推進員が2名いてくださることで、仕事を分担していただけることはよいことだと思う。
- ・地域学校協働活動推進員と担当教職員だけがつながるのではなく、年に1回でも運営協議会に全教職員が参加することで、つながることができたことは良かった。
- ・学校に自分の子どもや孫が通っていないなくても、協力してくださる方が多く、たいへん心強い。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者 ( 教頭 )

## 学校と佐和山応援隊の双方向連携で、佐和山っ子の確かな育ちを

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	佐和山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：49人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[ 長期休業前の印刷物の作成 ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

学校運営協議会では、地域学校協働活動においてそれぞれの立場で「できることをできるときに」というスタンスで取り組んでいくことを共通認識している。

#### 【熟議の内容】

- ・10年後の子どもたち、地域に対して望む姿
- ・こんな子どもたちであってほしい
- ・佐和山の子どもたちのいいところ～今年度の様々な取組から見えてきたこと～

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ●家庭教育支援

不登校児童等の学習支援や保護者の相談、学校への登校支援や訪宅支援をしていただいている。また、登校はできるが教室に行きにくい児童にも関わっていただいております。校内 SSR で児童の学習支援、相談対応にあたっていただいている。日々の情報共有に加え、学期に1、2回程度ケース会議を開催し、今後の方向性等を話し合いながら進めている。

#### ●1年生の朝の見守り

新1年生は、入学当初大きな期待と不安を背負って登校している。地域ボランティアの方に教室にいただき、朝の子どもたちの見守りをしていただいた。子どもたちは挨拶をしたり朝の出来事の話をしたりして、安心して1日のスタートを切ることができた。また、地域の方との関わりを持ち、ふれあう時間となった。

#### ●ミニ英語タイム

9月から1、2年生の各クラスにて、月1回、朝学習の時間に英語学習を行っていただいている。中学年からの外国語学習への前段階として、英語学習に取り組んでいる。

### ■ 事業の成果・展望

- ・本年度も地域学校協働活動推進員の発信により、支援内容に応じた『佐和山応援隊』を募集していただいた。保護者・地域の方48名の登録で、本年度の地域学校協働本部事業がスタートした。佐和山応援隊と地域学校協働活動推進員との連絡方法は、SNS等を使って連絡いただいている。そのおかげで、ボランティア募集等を円滑に進めていただいた。
- ・地域学校協働活動推進員は、週に1、2回程度来校して下さる。そこで地域連携担当者と情報交換している。事業を行う前には地域学校協働活動推進員や佐和山応援隊の方との事前打合せを丁寧に行い、学習のねらいを共有し、安全上の配慮事項や子どもへの対応の仕方等を理解していただくことで学習を充実させることができた。
- ・地域学校協働活動推進員には、子どもが学びたいと思ったことをもとに、迅速に地域人材や学べる場所等を探していただいた。また、子どもの学びの進捗状況に合わせた支援をしていただくことができた。それを実現できたのも、同じ方が長年継続して地域学校協働活動推進員をして下さり、各学年の学習内容を大まかに知ってくださっているからである。今後も、子ども主体で、学びたいことに合わせて支援を仰げるよう、つながりづくりや細かな情報共有を行い、大事に活動を進めていきたい。
- ・今後の課題としては、人材確保が挙げられる。佐和山応援隊を募集するにあたり、保護者への呼びかけは学校を通じてできるが、地域の方への呼びかけは地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員の人脈に頼る形となっているので、地域への呼びかけ方法を検討していく必要がある。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( 教務、学年主任 )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域と学校のつながりを生かし、学びの活性化と支援の充実を図る

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	旭森小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:34人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)□地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

「旭森ボランティア」の設立と学校課題への具体的な対応

- ・不登校対策(SSRの活用等による居場所づくり) ・行き渋り対策 ・マーチングバンドの指導 ・登下校の見守り
- ・学習支援(総合的な学習の時間・家庭科・生活科・社会科) ・掃除の見守り(玄関・廊下) ・校外体験学習の引率補助

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○旭森小学校コミュニティ・スクールボランティア

今年度より、「旭森ボランティア」として、学校教育に地域の方や保護者等が参画していただく取組を始めた。コミュニティ・スクールでの熟議を受け、地域学校協働活動推進員やPTA会長を中心に、年度当初に以下の3つのボランティアの募集を行い、活動していただいた。

- ①学習支援隊(図書室支援、家庭科(ミシン)支援、校外学習引率補助 など)
- ②マーチングスタッフ(指導補助、楽器運搬、行事参加の見守り など)
- ③旭森応援隊(玄関・階段・トイレ掃除、休み時間の子どもの見守り など)

○学校図書ボランティア「すまいる」の活動

本校の図書ボランティアは、「すまいる」の愛称で活動をしている。今年度も「すまいる」として、クラス単位での読み聞かせを定期的に行った。

○子どもたちの心の活性化を図るゲストティーチャーの招聘

今年度も、多くの学年でゲストティーチャーを招いた教育活動に取り組んでいる。

- 1年生 国語科「文化の伝承、昔のものの紹介」、生活科「昔の遊び体験」、国語科「朗読教室」
- 3年生 社会科「彦根市で働く人々」「警察署の仕事」「消防団による自警」、音楽科「リコーダーの演奏指導」、総合的な学習の時間「地域の歴史」「昔の暮らしと今の暮らし」
- 4年生 総合的な学習の時間「福祉学習(福祉についての講話)(手話体験)(アイマスク体験)(認知症についての講話)(障害のある方へのサポート活動)(高齢者についての講話)」
- 5年生 社会科「自動車に関する出前授業」 総合的な学習の時間「統計の出前講座」
- 6年生 総合的な学習の時間「キャリア教育」「茶道体験」「マーチング指導と講和(旭森マーチングバンドの歴史)」



【 絵本の読み聞かせ 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・学校運営協議会では「旭森ボランティア」設立・運営に向けて保護者や地域の方が、学校課題に対して主体的に議論を深めてくださり、地域の児童への働きかけを考え、活動していただく多くの機会を生み出した。
- ・図書ボランティア「すまいる」の活動では、子どもたちが生で伝わる読み聞かせのよさを身をもって感じるようになった。学校図書館の本の整理にもご協力いただき、読書活動の充実の大きな支えとなっていただいている。
- ・ゲストティーチャーを招いた学習活動では、子どもたちは本物との出会いを通して心の活性化を図り、学びを深めることができた。今後も様々な分野の学習支援者を招聘していきたい。
- ・ミシン学習補助や校外体験学習の引率補助では、多くの支援者の見守りの中で子どもたちの安心を生み出すとともに、教職員の働き方改革にもつながった。



【 家庭科(ミシン補助)支援 】

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/asahinomori-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 主幹教諭 )

## 地域とともに「瞳輝く西中健児」を育てる取組

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務1人) ボランティア登録数:15 人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域と学校(子どもたち)とがつながる活動とその運営について
- ・子どもたちの思いを学校運営に反映するための学校運営協議会の持ち方



【 AED 講習会 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・学校が主体となって地域の諸団体の方と生徒代表による「中学生の地域貢献」に向けての意見交流を重視した。
- ・地域と子どもたちがつながる活動として、今年度も夏休みに「ラジオ体操の会」を開催した。あわせて生徒の発案による AED 講習会を実施し、いざという時に生徒や地域の方々協力しながら人命救助が行えるような実践を学んだ。
- ・地域の一人暮らしの高齢者のお宅へ訪問し、全校生徒制作の「クリスマスカード・ニューイヤーカード&ポスター」を届ける取組を、生徒と民生委員・児童委員が協力し、生徒会が主体となって行った。昨年までの活動によって地域の方からの要望を受け、「生徒の顔を思い浮かべながら育てる喜び」を味わってもらえるように「ヒマワリ」の種も一緒に届けた。
- ・地域の方々を講師として招き、3年生に茶道教室を開催した。
- ・スポーツ振興会、青少年育成協議会と連携し、イベントの役員やボランティアに生徒が参加し活躍した。

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域の方とのふれあいを通して、地域への愛着や地域を誇りに思う気持ちを育むことができた。
- ・ラジオ体操や AED 講習会の取組では、広い年齢層の多くの方々が来校され、たくさんの笑顔が生まれる交流が図れた。西中学校区の明るい未来を感じさせる気持ちのよい時間となった。
- ・クリスマスカードやニューイヤーカード配布の取組が地域の方に受け入れられ、楽しみにされている高齢者は非常に多い。生徒が地域で活動する取組として根付いている。関わりを通じて生徒の高齢者理解も深まった。
- ・茶道教室では、自分が作った茶器と和菓子を準備し、地域の方のご指導をいただき、「和」の心について体験しながら学ぶ活動を行った。穏やかになれる環境や関わりを受け、受験生としてストレスの多い3年生にとって心が安らぐ時間となった。
- ・社会福祉協議会をはじめ、地域の諸団体と連携協働をすることにより、生徒の学習を深めることができた。

### ■ その他

- ・本校の活動に興味関心を持っていただいた県立大学の学生が次年度に向けて参観やボランティア参加をしたいとの声を聞いている。これらの取組から、つながりの輪が広がっていくことを期待している。



【「ラジオ体操の会」】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(生徒会担当教職員)

報告書記入者(教頭)

## 地域に根ざした学校をめざして

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	城西小学校	学校運営協議会	：	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務1人) ボランティア登録数：50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]						

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域に愛着を感じ、地域を誇りに思う心を育成するために、「彦根かるた」を学習に取り入れる。
- ・学校と地域が協働することができるよう、学校と地域の関係諸団体が緊密に連携する。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・城西学区社会福祉協議会から「彦根かるた」を寄贈いただいた。
- ・地域について学ぶ社会科や総合的な学習の時間に「彦根かるた」を活用し、地域の歴史や文化にふれる学習を展開した。
- ・学校運営協議会委員と教職員が、合同で「地域に学ぶ」研修会を実施した。
- ・4年生が、総合的な学習の時間において彦根城をガイドするにあたり、地域の歴史に詳しい学区在住の方にガイド内容等を指導いただいた。
- ・5、6年生の家庭科でミシンを使う学習の時間に地域の方に来校いただき、ミシンの使い方等について支援いただいた。
- ・地域の関係団体と学校の環境委員会が連携し、「花いっぱい運動」に取り組んだ。プランターに花の苗を植え、地域にプランターを配布した。



【彦根城ちびっこガイド】

### ■ 事業の成果・展望

- ・児童が地域に足を運び、自分の目で確かめたり、地域の方と交流したりすることを通して、自身のふるさとでのよさを発見、再認識する機会となった。
- ・学校が地域と連携することにより、学校が地域における役割の一端を担うことにつながった。
- ・地域を活用した教育活動を展開するにあたり、教職員がさらに地域資源(歴史建造物・人材等)について理解を深める必要がある。
- ・今後も継続して活動を展開できるよう、学校の教育活動に協力いただける方を見つけていく必要がある。



【花いっぱい運動】

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/jyosei-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他( )

報告書記入者 ( 教頭 )



## 地域・公民館とともにある SCHOOL SUPPORT

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:13人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

第3回と第5回の学校運営協議会では、「ゆるっとおしゃべり」と題して、学校運営協議会委員の他に生徒や保護者、地域の方にも参加を呼びかけ、学校生活の疑問や生徒会長が目指す学校について熟議し、地域学校協働活動の整理や工夫につなげることができた。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①PTA活動である体育大会前の学校清掃活動への協力を依頼し、全校生徒や保護者と一緒に、草刈り機等を使って除草作業を行っていただいた。
- ②校内の環境整備事業として、特別支援学級の生徒と一緒に正門前の剪定作業に取り組んでいただいた。
- ③地域の公民館に授業等で制作した生徒の作品を展示する「中央中博覧会」において、設営や後片付け等の支援をしていただいた。また、作品管理や来場者対応を教職員に代わって担当していただいた。
- ④公民館の文化祭や地域のイベントで吹奏楽部が演奏する機会を設けていただき、楽器の運搬を支援していただいた。



【 正門前剪定作業 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・清掃活動を全校生徒や保護者と一緒に活動することで、地域学校協働本部事業や地域ボランティアのメンバーのことを知ってもらうことができた。また、草刈り機等の機材を持参していただいたので、短時間で効率よく作業が進んだ。
- ・剪定作業を特別支援学級の生徒と一緒に活動することで、作業の仕方を教えてもらいながら地域ボランティアと生徒が近距離でふれあう機会となった。
- ・公民館を会場として「中央中博覧会」を実施することで、多くの保護者や地域の方に鑑賞していただくことができた。また、学区内の小学校へも協力を依頼して6年生児童の書写作品も展示することで、次年度入学予定の児童やその保護者にも中学校の取組を知っていただくことができた。また、美術部が案内ポスターを制作して公民館の広報誌とともに地域に配布したり、入口の看板を制作したりすることで、美術部の活躍の場にもなった。さらに、展示中の管理を教職員に代わって公民館にお任せすることで、教職員の働き方改革につながった。準備や後片付けには、毎年ご協力いただいている地域ボランティアの指示により、スムーズに運搬や会場設営を行うことができた。
- ・地域学校協働本部事業に関わる地域ボランティアの高齢化や固定化が以前からの課題である。新たな人材を見つける必要がある。
- ・地域の協力者を増やして事業の充実を図るため、学校通信や公民館の広報誌などで募集を呼びかけて周知を図るとともに、支援の輪を広げ、支援者の得意分野を学校の教育活動の充実につなげられるようにコーディネートする。



【 中央中博覧会 】

### ■ その他

活動の様子は、校内で写真を掲示して紹介するとともに、学校ホームページにも掲載して周知を図っている。  
 学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/chuo-jh-hikone/>



### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)

## 豊かな子を育み、地域とつながる学校づくり

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	平田小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：22人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・本年度の学校運営方針について
- ・地域への情報発信、地域・家庭・学校の一体化について
- ・地域の力を子どもたちの教育に生かすことについて
- ・子どもたちに付けていきたい力とそのための取り組み方について

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・「全校ふれあい遠足」における安全指導ボランティア  
 本校の伝統行事である「全校ふれあい遠足」において、学校から彦根城までの行程の安全指導をしていただいた。19名にお手伝いをしていただいたおかげで、道中ならびに彦根城内で、十分な子どもたちの安全確保を行うことができた。



【 ふれあい遠足の様子 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域の方との交流だけでなく世代間交流といった視点からすると、たいへん充実した機会となった。ボランティアからは、「子どもたちと一緒に活動することで、私たちも元気をもらっている。」「今後も地域・学校・家庭のつながりを大切にしたい。」等の感想をいただいた。
- ・今後の展望として、メンバーの高齢化や固定化が進んでいるので、本事業の情報を地域に発信(回覧板等)してボランティアの募集を行っていきたい。

### ■ その他

- ・学校運営協議会との協働として、活動の様子を学校ホームページ等で情報発信し、広く活動についての理解や協力を得られるようにしている。



【 学校運営協議会の様子 】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(PTA担当)

報告書記入者 ( 主幹教諭 )

## 地域の力でつくる子どもたちの豊かな学習活動

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	金城小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：87人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 地域・保護者ボランティアの取組報告と活動の活性化について
- デジタルセーブや家庭学習についての取組報告
- 各種アンケートの結果報告と今後の方針についての話し合い



【 絵本の広場(地域ボランティアと児童) 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)登下校の安全パトロールとあいさつ運動  
金城見回り隊の方々、毎日通学路の要所に立ち、あいさつの声掛けやコミュニケーションをとり、子どもたちの安全を見守ってくださっている。

(2)町探検や施設探検の引率支援  
1年の学校探検や2、3年の町探検・施設探検で、引率補助をしていただき、目的地が複数箇所にもわたる場合も、安心して探検することができた。

(3)体験活動の支援  
1年生生活科や3年生社会科では、学習支援をお願いした。また、5、6年の家庭科のミシンの学習の補助として支援していただいた。

(4)朝の読み聞かせと絵本の広場・図書室の整備  
年間を通じて、朝読書の時間に読み聞かせをしていただいた。また、月1回の「絵本の広場」の開催により、子どもたちが本にふれる機会が増えた。作家さんに児童書の寄贈を呼び掛け、図書室の本を新調したり、週1回、環境整備や並行読書の選書等を行ったりしていただいた。

(5)清掃支援(プール清掃含む)や花壇などの環境整備  
月2回のペースで校内の清掃をしていただいた。トイレ掃除のグッズ等の寄付を募ることで、たくさんの資源が集まった。また、花壇や畑の耕しや苗植え等にもお手伝いいただいた。



【 児童とともに花壇に苗植え 】

(6)季節や行事に応じた掲示物づくり  
季節や行事に合わせて、掲示物を作成し、校内を明るくしたり、話題づくりをしたりしてくださった。

### ■ 事業の成果・展望

○長年読み聞かせをしてくださっていた図書ボランティアと熟議することで、できそうなことを模索し、その結果「絵本の広場」が生まれた。地域・保護者・学校がつながった形での開催で、子どもたちや教職員にも好評である。無理のない活動を定期的に続けていくことで大きな成果となった。

○通学路の見守りをさせていただくことで、子どもの安全確保につながっている。また、登下校の様子など適宜伝えていただくことで、学校だけでは気付かない実態を把握し、即時に指導することにつながった。

○町探検や施設探検の引率支援をしていただくことで、これまで行くことができる場所に限りがあったが、子どもたちの希望する探検先を増やすことができていく。

○地域主催の「金城フェスタ」に、特別支援学級が模擬店を出店した。子どもたちの学びとなるとともに、地域の方々とのふれあいが実現し、地域の方も喜んでくださった。

○学校運営協議会の熟議と、日々のボランティア活動が連動できておらず、どうしても学校が主体になってしまう現状がある。今後は、学校運営協議会の熟議と日々のボランティア活動が連動できるような仕組みを模索していかなければならない。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 彦根南サポートオフィス 14年目の取組 共に助け合う関係づくりをめざして

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	南中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 学校や地域の「強み」や「弱み」について
- 地域・学校での子どもたちの様子について

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)CS 掲示板(通年)

地域で行われる行事やボランティア活動等の情報を掲示し、生徒が気軽に参加できるきっかけを提供する。

(2)環境整備作業(11月22日)

学校周辺のフェンス際の草刈りや溝掃除、校地内の清掃活動を、地域貢献活動として生徒、保護者・地域の方総勢 80 名で行った。

(3)プランターの花植え(12月11日)

地域学校協働活動推進員の方の指導により、卒業式での活用も見据え、プランターの花植えに取り組んだ。土入れ、苗の植付け、水やりまで、生徒も加わり熱心に取り組んだ。

(4)地域貢献活動(通年)

地域ごとに、生徒が参加できる活動を紹介していただき、生徒たちがボランティアとして参加する地域貢献活動「南中ボランティア」を再開した。



【 環境整備作業 】

■ 事業の成果・展望

- 地域と学校の連携を推進するため、teturu(保護者連絡ツール)や学校ホームページを活用し、情報発信を行ったことで人材確保に努めた。
- 地域学校協働活動推進員と担当教職員が定期的に連絡を取り、情報交換や運営について協議する体制を整えた。
- 推進員のスキル向上に向け、研修情報を随時紹介し、研修機会の確保を行った。
- コミュニティ・スクールとしての効果的な連携のあり方について検討を進めた。
- 環境整備作業への参加が多く、親子ならびに地域における交流が実現した。
- 地域貢献活動「南中ボランティア」を再開し、地域と生徒の関わり場と機会を創出した。
- 活動を充実させるためのボランティア人材確保が課題である。親子での活動や地域の方と生徒が協働する場面を設定することが重要である。
- 地域の大学や企業等との連携・協働を模索しながら事業を推進していく。
- 地域と協働した「防災訓練」の実施計画を進め、非常変災時に共助の視点から行動できるよう、地域・学校・生徒の関係づくりに着手する。



【 プランターの花植え 】

■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/minami-jh-hikone/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## つながりが生み出す豊かな学び

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	城南小学校	学校運営協議会	：	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]						

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・「自尊感情」に係る取組について

子どもたちの自尊感情を高めるための学校の取組について協議した。また、各学級の具体的な取組と振り返りを提示し、さらなる高まりを目指して対話を重ねた。

・城南小学校の子どもたちに付けたい力について

城南小学校の子どもたちの強みと弱みを学校ビジョンに照らし合わせながら確かめた。それらは、登下校時や学校行事等を通して表れており、これまでの取組の成果と今後の課題が明らかになった。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○読書ボランティアによる「読み語り」

朝のさわやかタイムに、各教室で読み語りをしていただいた。毎回、児童の興味・関心をひく本や、季節等に合わせた本を選んでくださり、ボランティアの周囲に集まった児童らは、お話に聞き入り、本の世界に浸っていた。

また、図書室に読み語りで使った本を置くスペースを設けたり、図書室前の掲示板上におすすめの本や季節の飾りを掲示したりするなど、児童らが本に親しみやすい環境を整えてくださった。



【 読み語り 】

○社会福祉協議会の方々による「校外学習引率ボランティア」

2年生の生活科や3年生の総合的な学習の時間に地域に出かける際、引率のボランティアをしていただいた。事前に打ち合わせをし、学習のねらいが共有できるようにした。たくさんの方に来ていただき、児童が安全に校外で学習することができた。また、小グループで活動することができ、学習を充実させることができた。



【 引率ボランティア 】

○行事(運動会、音楽会等)の運営補助

教職員の配置が手薄になることが予想されたので、地域の大学生や保護者等にお願ひ、お手伝いいただいた。運動会や音楽会の準備・片付けなどで力を貸していただき、スムーズに運営することができた。特に今年度の音楽会は、150周年記念事業として実施し、地域の方にも多数参加いただいたため、駐輪場での誘導や受付業務等を行っていただき、思い出に残る盛大な会を催すことができた。

### ■ 事業の成果・展望

・児童は、読み語りを毎回楽しみにし、集中して引き込まれるように聞くことができた。読まれた本やおすすめの本の掲示物に興味をもち、自分でも読もうと図書室で借りる児童がいた。また、日頃から読書に関心をもち、意欲的に本を借りて読む児童の姿につながっている。

・今年度も校区内の校外学習の引率にご協力いただき、児童の安全管理においてたいへん助かった。継続して実施することで、連携がとりやすくなっている。学習のさらなる充実に向け、連携した取組を増やしていけるとよい。

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/jyonan-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者 ( 主幹教諭 )

## つなげよう 子どもを育む地域の力～地域の力で学びを深める～

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	城陽小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:60人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・継続的に取り組んでいる地域・保護者・教職員と共に取り組んでいる朝の読み聞かせについて
- ・地域の先人の活動跡を探る総合的な学習の時間の展開
- ・幼・保・小の継続的な連携について
- ・タブレット端末の効果的な取組と保護者と共に考える情報モラルについて



【 朝の読み聞かせ 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○読書活動支援

朝の活動の時間には、読書ボランティアの方々に各学級で絵本の読み聞かせをしていただいている。また、図書環境ボランティア1名が隔週の図書の整理や修繕だけでなく、行事や季節に合わせた図書室内の飾り等を工夫し、子どもたちが読書に親しめるように活動して下さっている。また、「秋のお話会」を学年部ごとに実施し、ひこね児童図書研究グループの方々に、紙芝居や読み語り等をしていただいた。

○第5、6学年 家庭科「レッツ！ソーイング」

5年生は、裁縫セットやミシンを使ってのトートバック製作、6年生は、エプロン製作に取り組んでいる。特に5年生は、初めてのミシン学習であり、使い方を丁寧に指導する必要がある。ここ数年、同じ方がボランティアとして来てくださっていて、子どもがどのようなところにつまずきやすいかをよく把握されている。操作手順を助言し、困っている子どもにも声をかけ、熱心に支援していただいた。6年生にも同様に支援していただいた。



【 レッツ！ソーイング 】

■ 事業の成果・展望

- ・朝の読み聞かせは10年間継続されている取組である。子どもたちが朝、落ち着いた気持ちでスタートするにも言語力を育てるにも良い取組である。子どもも読み聞かせを楽しみにしており、絵本や本にいつでもふれられる環境が整っている。今後も地域・保護者・教職員が協働して継続していく。
- ・ボランティアバンクの整理が十分でなかったため、次年度以降に向け利用状況を一覧表に整理している。
- ・子どもたちに地域への誇りや愛着心が育まれるように、生活科や総合的な学習の時間で、地域の方と共に学習を展開する。

■ その他

- ・地域の方と顔を合わせ話し合う機会が増えたことで願いや思いを共有できた。今後も子どもを中心として話し合い、みんなで子どもを守り育てる意識、土壌を育んでいきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## 「子どもたちの笑顔のために」チームわかバンク 10年目の取組

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	若葉小学校	学校運営協議会	：	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：60人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[土曜支援(教室)…第1,3週の土曜日 AM ]						

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域学校協働本部(わかバンク)の組織について
- ・年間の活動内容について
- ・育成する児童像について(思いやりの心を育てるために学校・家庭・地域ができること)



【 環境整備部による栽培活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ・命を育む栽培活動

これまでから地域の方にお借りしている畑を学校園として、全学年で栽培活動を進めている。この活動の目的は、子どもたちが苗植えから水やり、草取り等、野菜を育てる過程を大切に、命の尊さ、収穫の喜びを実感することにある。そのために、地域のボランティアさんのご協力をいただいて進めてきた。

今年度も地域学校協働活動推進員との入念な打合せを行い、教育活動の目的に応じた栽培活動(畝立て、苗植え、収穫など)に支援していただくことができた。

#### ・「若葉の森」の環境整備活動

校地内に植えられている2,000本を超える樹木は、「若葉の森」として地域の方にも親しまれている。開校当時からこの「若葉の森」の樹木を学習の題材として、生活科・総合的な学習の時間、特別活動等を中心に樹木に関わる学びを深めている。常設の支援(図書・学習・見守り・広報・土曜)に加え、特設の環境整備部により校地内の葉刈りや剪定、花壇の整備等の支援を充実させることができた。今後も自然豊かな環境を維持し、児童の学びにつなげていきたい。

#### ・地域の高校との協働によるプログラミング学習や電気学習

これまでから地域のマイスター・ハイスクールである彦根工業高校の建設科と連携を図り、愛校運動の一環として中庭テラスの修繕作業などに取り組んできた。さらに電気科とも連携を広げ、プログラミング学習を実施してきた。高校生からプログラミングについての話を聞き、実際にScratchを使用してプログラミングに取り組んだ。今後もマイスター・ハイスクールとの連携を図り、キャリア教育へとつなげていきたい。



【 彦根工業高校による電気についての学習 】

### ■ 事業の成果・展望

地域学校協働活動推進員を中心に、「学習支援」「図書支援」「見守り支援」「広報支援」「土曜支援」「環境支援」の6つのリーダーが責任をもって進めてくださるため、どの活動も価値ある成果を感じることができた。10年目を迎え、「地域の方」から「わかバンクの方」へと児童の認知度も高まり、児童とのつながりも深まってきている。学校支援メンバーの一部の方に負担がかからないよう、PTAをはじめ、様々な事業所や機関とも連携を深め、長期間を見通した継続性のある活動を進めていきたい。支援メンバーの高齢化に伴い、今後の継続を可能とする組織改編が急務である。保護者への参画を呼びかけ、地域と保護者が協力して子どもの成長を支える活動の充実を進めていきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## ふるさとを愛し、ふるさに学ぶ「We Love かめやま」

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	亀山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校の教育活動における地域(郷土学習)や地域人材活用の現状について
- ・学校教育につながる地域人材の発掘・活用について(亀山っ子応援隊の立ち上げ)



【1~3年 サツマイモの栽培】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)栽培活動支援

毎年、プール横の畑でのさつまいも作りに支援していただいている。苗を植える際のコツや収穫の仕方、土の掘り起こし方を教えていただいた。収穫までの管理について、担任と連携をとりながら、支援いただいたことが、児童の収穫の喜びにつながった。

また、土を耕していただいたり、休日の水やりをしていただいたりと、教職員の負担軽減にもなっている。

#### (2)3年生 総合「亀山っ子探検隊」

学習を進めるにあたって、地域学校協働活動推進員の協力が欠かせない活動となっている。地域ごとに協力してくださる方が、その町の祭りや言い伝え、特色を詳しく教えてくださいました。児童にとって、地域のことをより詳しく学ぶことができるとともに、地域の方と親しくなる機会にもなっている。



【3年生 亀山っ子探検隊】

### ■ 事業の成果・展望

○地域学校協働活動推進員に、学校のニーズに合った人材を紹介していただき、教育活動の充実につながっている。

○ボランティアから様々な支援を受ける中で、児童は、教職員だけでなく地域の様々な方から支えられていることを実感し、進んであいさつをしたり、話しかけたりするなど、自分から関わりを深めることができている。

○地域学校協働活動推進員と連携を取り、ゲストティーチャーやボランティアとの連絡・調整役になっていただいていることが、教職員の負担軽減につながっている。

○今年度、様々な教科や領域の地域ボランティアを発掘するために、地域学校協働活動推進員と相談し「亀山っ子応援隊」を立ち上げた。地域に協力をお願いの案内を回覧したり、呼びかけていただいたりしたことで、地域ボランティアの人材発掘が一定できた。支援内容や日程の調整など課題もあるが、今後も地域の方と力を合わせながら、教育活動を推進していきたい。

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/kameyama-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他(各担任)

報告書記入者(教頭)

## 負担にならない、新時代の学校支援を目指して

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	彦根中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:47人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・「地域学校協働活動への保護者の参加が多くなるための方策について」をテーマに熟議を行った。メール配信で呼びかけること、活動後に交流の機会をもてるようにすること、学校行事における駐車券や特別席を返礼品とすること等、多くの意見が出された。
- ・次年度に控えている40周年記念事業に関する行事予定や、地域にも参加いただける場面の検討についても意見の交流を行った。



【花いっぱい運動】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 緑のカーテンプロジェクト(取組12年目)

- ・5月上旬に支柱設置、ネット張り、ゴーヤの苗植えを地域ボランティアの指導のもとで実施した。
- ・環境委員会や各部活動および地域ボランティアや保護者ボランティアの方々による水やりを毎日行い、9月下旬に支柱の撤去を行った。
- ・県のCO<sub>2</sub>ネットゼロの活動とも関連付けて取組を実施した。

#### (2) 花いっぱい運動

- ・正面玄関に設置するプランターの花をおよそ3ヶ月ごとに植え替え、常に来校者を花で迎えられるよう、水やりも当番を決め、定期的を実施した。

#### (3) 学校行事への支援

- ・入学式や体育大会や合唱コンクールなどの学校行事における駐車場整理での保護者とのつながり。
- ・全校長距離遠足の際の交差点での交通誘導。 ・校内の葉刈り作業や、愛校作業への参加。
- ・資源回収活動における軽トラックの協力。

### ■ 事業の成果・展望

#### (1) 事業の成果

- ・今年度からボランティア登録制度をスタートし、学校行事・授業や地域学校協働活動に関してのべ60名の方に登録いただいた。自治会組織が弱体化して地域での交流が減る中、地域と生徒とのつながりだけでなく保護者にも多く参加いただくことができた。
- ・緑のカーテンプロジェクトは取組12年目になり、生徒や地域の中で定着している。作業を通じて、自分たちの学校環境を自分たちで良くしていく意識づけになった。
- ・多くの地域ボランティアの方や保護者ボランティアにも多数参加いただき、生徒たちを中心に協働する活動を充実させることができた。

#### (2) 今後の展望

- ・従来からの事業内容は、ほぼ定着してきているが、実施時期や実施方法等の工夫を加え、地域と学校の関係づくりをさらに活発にしていきたい。
- ・今年度、参加していただけるボランティア人数は増えたが、次年度以降も保護者や地域からの参加が増えていくよう、ボランティア登録制度の定着を推進していく。
- ・活動に一度も参加したことのない教職員をゼロにするため、初めて本校勤務となる教職員にも参加を促し、地域との連携を図り、他の活動へとつなげたい。

【ボランティア募集チラシ】

### ■ その他

- ・コミュニティ・スクールも2年目に入り、活動における多くの役割を学校側だけが担うのではなく、学校運営協議会としての活動運営が定着するようになった。地域と保護者とのつながりも深まり、お互いの声かけや地域学校協働活動にもつながってきている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)

## 見る、聞く、体験する、地域に支えられて育つ「河瀬っ子」

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	河瀬小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・次年度以降「学校」と「地域」が一緒に活動できることについて話し合った。季節の行事、登下校の見守り、スクール農園、町探検(郷土学習)、環境学習、キャリア教育等、各学年における学習内容にあった取組について話し合った。



【1年生 交通安全教室】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)「交通安全教室」(1年)

生活科の学習の一つとして、4月に行った。新入生は、登下校に慣れていないので、横断歩道の渡り方や見通しの悪い場所の歩き方など「体験活動」を取り入れて学習に取り組んだ。警察の方や地域で見守ってくださる方も一緒に参加していただき、安全な歩き方を体験する時間になった。

#### (2)「町探検」(2年)

郷土学習として、広い河瀬学区の町の様子をより深く知る学習となった。河瀬小学校を中心に東西南北に分けて公園や神社、公共施設について実際に行き、見て、聞いて、知る学習となっている。また、見学に行く施設の方の話を聞くことで、施設の役割や働いている人の思いを知ることができた。



【3年生 大豆 播種見学】

#### (3)「大豆はかせになろう」(3年)

今年度から「はたけの子」として、総合的な学習で取り組んだ。1学期は播種見学、2学期はJAの方をゲストティーチャーに招き大豆について知識を深めた。また、枝豆の収穫体験を行い、収穫した枝豆を茹でて実食した。11月末には、大きな機械を使って大豆を収穫している様子について見学した。

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域と学校が連携できるように、地域学校協働活動推進員の方を中心に各種団体と連絡を取り合いながら日程や活動内容を計画し、交流を図ることができた。
- ・毎年、年間計画を見直し、昨年度までの協働活動と教科との関連性を踏まえ、また新たに必要な活動が組めるようにカリキュラムマネジメントを行った。
- ・カリキュラムマネジメントを行うことで、教科や学習と関連付けた充実した体験活動を行うことができた。
- ・多くの地域の方に出会ったり、施設を訪れたりすることで、子どもたちが自分たちの住む地域が多くの方によって支えられていることを感じる事ができた。
- ・地域学校協働活動推進員、ボランティアとともに高齢化が進んでいる。今後も継続して支援活動を取り組めるように、新しい支援活動の計画や新たな人材発掘が重要である。

### ■ その他

活動の様子を各クラスの通信や学校ホームページにて紹介している。  
 学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/kawase-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(地域連携担当教職員)

## 地域に学び、人に学び、つながりに学ぶ

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	高宮小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:80人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

本校が大切にしている「一人ひとりが大切にされる高宮小学校、一人ひとりを大切にす  
る高宮小学校」にするために、学校としてできること、保護者・地域としてできることにつ  
いて協議した。



【 読み聞かせ活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 読み聞かせ活動(毎週火曜日に地域の方による読み聞かせの取組)

・火曜日の朝の読み聞かせの時間を子どもたちは、とても楽しみにしている。ボランティ  
アの方も、教室に来て始まるまでの時間に子どもたちにやさしく声をかけ、とても親し  
みを込めて接して下さっている。読み聞かせでは、子どもたちの発達段階や時期に考慮し  
て本を選んで下さり、10分間の短い時間ではあるが、子どもたちと地域の方をつなぐ、  
とても意義のある時間となっている。

#### (2) 各学年の学習支援(総合的な学習の時間のゲストティーチャー・郷土学習の充実にか かる支援)

・3年生の総合的な学習の時間に、「高宮町のすてき発見」という学習で、地域のカル  
タ「高宮カルタ」から高宮学区の歴史等について学ぶ学習を行っている。その  
際、ゲストティーチャーとして、地域に住まわれている方に幼少期の地域の様子を  
話していただいたり、高宮の歴史を詳しく調べておられる「高宮歴史研究会」の方  
にお話をいただいたりした。子どもたちは、自分たちの住んでいる地域に歴  
史的な建造物があり、それを地域の人たちが長年受け継いで残してきていること  
等を熱心に聞いていた。



【 総合的な学習の時間(郷土学習) 】

### ■ 事業の成果・展望

・本校は、大きな新しい団地に住んでいる子どもや、旧の字に住んでいても核家族の子ども等が多く、地域の歴史はもとより伝統  
文化や行事等を知らない子どもが増えている。住民同士のつながりも希薄になってきていることから、地域住民の多くの方々は  
子どもたちが交流を通して地域文化に親しみ、伝統を受け継いでいこうとする姿にたいへん喜んで下さっている。とても協力的  
に活動に参加して下さっている。また、子どもたちも地域の方との交流から、地域の誇れる文化を学ぶことができるので、  
意欲的に学習に向かう姿が見られた。

・子どもたちだけではなく、保護者、教職員も地域学校協働活動推進員や地域の方々とのつながりが薄い状態にある。また、教職  
員の中には、担当学年以外の活動を知らない者も多く、高宮の歴史や文化等の誇れる部分について話せる者は多くない現状があ  
る。保護者(PTA役員)や教職員が入れ替わっていくことで、本事業の継続的な取組が脈々と受け継がれていくことが難しくな  
っていく。そこで、学校運営協議会の場を活用し、学校の現状や地域社会に学校が求める内容をしっかりと伝え、多くの協力を  
積極的に求めていることを発信していくことが必要である。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域と学校を結ぶ鳥居本学園の協働活動

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

○小中一貫校として10周年を迎えたが、実績や評価について総括できていない。一定の評価をした上で、市小中学校適正規模・適正配置基本方針による次の段階に進んでいただきたい。

○学校の課題を解決するために、今後も地域や市教育委員会とともに考えていきたい。



【 男鬼森林学習 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)男鬼森林学習

学区有林(財産区共有山林)の森林整備作業について学習し、植樹や間伐作業などを実際に体験した。森林の保全と有効な活用との調和について理解することができた。

#### (2)地域との連携

夏季休業中、中学校の芝生グラウンドの水やりを実施していただいた。学区文化祭において、吹奏楽部の演奏および、書写や美術作品、総合学習新聞等を展示した。中学校のキャラクター「さんあかレンジャー」やボランティアの生徒が文化祭の役員として参加した。今年度から全校合唱を取り入れ、地域住民の前で披露した。また、宿場まつりでは、ボランティア部がブースを出店し、部活動で作成したものを販売した。さらに、学区の運動会に中学生が役員として活躍した。

### ■ 事業の成果・展望

○地域の行事に中学生が参加していく活動があることは、地域と中学生(中学校)がお互いに支え、支えられるという関係づくりにおいて効果があると考えられる。特に、中学生の活動を実際に発信して、地域の方に見てもらおうことが、生徒の励みになっている。また、地域の方も中学生の活動を見て、頼もしく思ったり、身近に感じたりし、これからの地域の担い手としての期待感をもたれている。



【 学区文化祭 全校合唱 】

### ■ その他

○学校・家庭・地域の交流が深まることにより、相互の信頼関係が強化され、地域ぐるみで子育てをして地域の活性化を目指し、今後の活動にもつながるよう、改善に努めていきたい。また、男鬼森林学習の継続・発展的な運営や、「さんあかレンジャー」のさらなる活躍の場を考えていくことが大切だと考えている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

「ふるさとと共に生きる喜びを」～地域と共に～

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：50 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

○5、6年生家庭科 ミシンでソーイング

10月に、5、6年生の家庭科で、ミシン学習の支援をしていただいた。5年生は、初めてミシンを使う児童が多く、ミシンそのものの扱いに慣れていないため、ミシンが止まったり、糸が絡まったりした時に、友だち同士では解決できないことも丁寧に教えていただいた。ミシン縫いの楽しさを味わいながら、5年生はエプロン、6年生はナップサックを全員仕上げることができ、生活に役立つ物を作る喜びを感じ、豊かな関わりの中、一人ひとりが自信をつけることができた。



【 たてわりウォークラリーの様子 】

○読み聞かせ活動・図書室環境整備

地域・保護者の方に、図書室の本の整理や新刊図書の紹介、年中行事にあわせた掲示物の更新等をしていただいている。また、毎月1回(水曜日8時 15 分～8時 30 分)、約 10 名の方が学級毎の読み聞かせをしてくださっている。子どもたちは読み聞かせを楽しみにしており、読書意欲の高揚につながっている。本の内容や発達段階に応じて様々な工夫を凝らしていただいている。子どもたちの豊かな心の育成につながっている。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①子どもの主体的な力を育むための工夫として、地域学校協働活動推進員と年度当初や年度途中等に定期的に相談をし、具体的な子どもの活動をイメージした上で、成功体験を積み重ね、自信につながるよう、参加者の人数を検討しながら学習を実施した。
- ②新たな地域人材の発掘やつながりづくりのための工夫として、地域の方に具体的な学習活動を伝え、どのような活動時に何名の協力者が必要か等、具体的なことを相談し、地域の方から新たな方を紹介していただいた。



【 家庭科の支援 】

■ 事業の成果・展望

今年度の学園運営協議会では、SWOT 分析を実施し、本学園の強みと弱みを共有することができた。その中で、「地域の学習材が豊富(歴史遺産・神社仏閣)」であることが外部環境の強みとして挙げられている一方で「リーダー性の育成」が内部環境の弱みとして挙げられた。

今後の本活動については、強みである豊富な地域人材や学習材を生かし、そこに子どもたちのリーダー性を育む活動を取り入れていきたい。そのためには、子どもたちが主体的に地域の学習材に関わっていけることが重要だと考えることから、学校と地域が学園運営協議会を通して話し合い、よりよい活動になるように協力していきたい。

■ その他

小中学校の様子をお知らせ

鳥居本学園ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/torimoto-hikone/>

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担任)

報告書記入者(教頭)

## 地域のみらいにつなぐ学校支援

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印          開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：7人  <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援  <input type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>学びによるまちづくり  <input type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動  <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/>その他[ 地域連携活動事務局 ]</p>			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校美化活動(5月23日)  
 昨年度の学校運営協議会で計画したことを実施。  
 生徒・保護者・地域ボランティアで学校及び周辺の除草作業。
- ・グラウンドフェンスにイルミネーションを設置。  
 生徒会の提案、全校生徒の投票でデザインを決定。青少年育成協議会、青少年指導員会等が設置を支援。



【 学校美化活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・6月27日第2回学校運営協議会に、稲枝中学校生徒会執行部、稲枝商工会会長に参加いただき、「若者が考える今後の稲枝」をテーマに熟議を行った。それぞれの立場から稲枝を盛り上げたいというアイデアが出された。
- ・稲枝駅前美化を目的としたプランターへの植栽と管理(通年)  
 青少年育成協議会主催。生徒たちがボランティアとして参加し、地域の方々と話をしながら作業を進めた。



【 イルミネーション設置 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・短時間ではあったが、親や教職員以外の大人と触れ合う貴重な時間となった。
- ・学校整備活動で参加いただいた中に造園業の方がいたので、剪定作業をしながら講習もしていただき、多くの参加者に喜んでいただけた。
- ・イルミネーション設置については、生徒会活動の活性化の一助となり、生徒たちも生き生きと活動できた。

### ■ その他

- ・特別支援学級の生徒が生活単元学習で行う農園の管理、指導。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( 特別支援学級担任 )

報告書記入者( 地域学校協働活動推進員 )

## 子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b> 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：55人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・「地域の力をどう子どもたちの教育に生かすのか」、また、「地域の方々にとってやりがいのある活動とは」を議題に、それぞれの支援・関係団体で取り組める活動を模索した。
- ・学校活動への積極的な交流を目指し、ボランティア募集のチラシ配布や学校連絡アプリの活用を図りながら、保護者や地域の方への周知を行った。



【 朝の「読み語り」 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・読書に親しむ子どもを育成する朝の「読み語り」、図書室の環境整備  
地域の「読み語りボランティア」7名の皆さんに、木曜日朝のすこやかタイムに読み語りをしていただいた。また、子どもたちがいろいろな本を手に取りやすいように、図書室の環境整備も進めていただくことで、図書室の学習環境が充実し、子どもたちの豊かな心の育成につながることができた。
- ・夢を実現された本校卒業生から学ぶ「教育講演会」  
本校卒業生で地域でも活躍されている松山さんをお迎えし、全校児童を対象に「夢をかなえて～届け！先輩からのメッセージ～」と題して、体験談や在校生へのメッセージについて講演いただいた。夢を実現させるためには、夢ややりたい姿など明確なビジョンを持つことや、普段の生活の中でできることをしっかりとすることなどを熱く語っていただき、改めて夢に向かって努力することの大切さを感じることができた。



【 「夢をかなえて」～届け！先輩からのメッセージ～ 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・「読み語りボランティア」の皆さんは、本校だけでなく校区内の幼稚園や中学校にも行ってくださっている。学年に応じた本を選定し、子どもたちも安心してお話の世界に浸ることができ、本好きの子どもが育っている。
- ・地域人材を活用した学習や活動について、お世話になった方の所属や名前、活用した教科、内容等を記録に残し、次年度以降に活用できるようにしている。
- ・学校として年間を通してどのような取組をしていくのか、またどのような人材を求めているのかなどを積極的に発信して、子どもたちの学びをより豊かにするとともに、地域の方々にとってもやりがいのある事業を展開していく必要があると考える。
- ・学校運営協議会で熟議された事項を充実させ、「地域とともにある学校づくり」を進めていきたい。

### ■ その他

本校の取組は、日々の学校生活の様子と併せて学校のホームページにて紹介。  
 学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/inaehigashi-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 「ALL はえみ」地域とともに、学びの充実をめざして

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

単級のため、交流や体験を充実していきたい。異学年交流や稲枝の3小学校の交流、保育園との交流等、体験を通して他者とつながる力をつけてほしい。また地域を通じた学習により、稲枝の良さを知ってほしい。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

毎年地域のフラワーサポーターと高学年の子どもたちが一緒に花壇づくりに取り組んでいる。メイン花壇だけでなく、サブ花壇や中庭、昇降口等四季折々の花に囲まれている。花の植え替えや、水やり等、地域の方と共に活動に取り組むことができた。花の栽培活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育むことにつながった。

各学年の学習内容に応じて、地域の方々から話を聞いたり、一緒に体験したりする学習活動を行った。低学年では地域の神社や商店に出かけて話を聞いたり、見学をしたりした。中学年では保護者にゲストティーチャーとして来校いただき、紙飛行機や革細工、人形劇を使った学習をした。高学年では近所の田んぼで田植え体験やニゴロブナの放流体験を行った。



【メイン花壇づくり】

### ■ 実施に当たっての工夫

フラワーサポーターとの花壇作りでは、地域学校協働活動推進員と事前に年間のおよその活動計画を共有することで、見通しをもって取り組むことができた。夏休みの花壇の水やりボランティアを地域の方や保護者に募集し、たくさんの方に参加していただくことができた。また、委員会活動の時間にフラワーサポーターと一緒に活動し、子どもが始めの言葉や感謝の気持ちを伝えることで地域とのつながりを感じることができた。

各学年の体験学習では、事前に子どもや担当教職員の思いを地域学校協働活動推進員に伝えることで、ニーズに応じたサポートをしていただくことができた。



【名人・達人に学ぼう】

### ■ 事業の成果・展望

フラワーサポーターと一緒に種まきや植え替えなど花壇作りに取り組むことで、地域や学校での出来事について作業をしながら、自然と交流する場面が見られた。また、学校の花壇は地域の人々にとっても大切な花壇であるという意識が高まり、今後も大切にしていきたいという伝統意識の育成にもつながった。フラワーサポーターと活動する際には、代表の児童が始めの言葉やお礼を伝えることで、主体的に活動することができた。

地域学習等で話を聞いた際には、実物に触れたり、体験を交えた話を聞いたりすることができた。今と昔を比べることで、町の様子や生活の仕方、暮らしやすさなど時代によって変化してきたものや、何十年も変わらず大切にされてきている場所や思いに気づくことができた。

### ■ その他

学校運営協議会は、今年度から年間4回となり、第1回目は学校から学校経営方針の説明をし、交流した。2回目は1学期のアンケート結果(子ども、保護者、教職員)をもとに、子どもたちの姿や学校のあり方についてご意見をいただいた。3回目は、2学期のアンケート結果をもとに2回目と同様に協議し、4回目は今年度のまとめと来年度に向けての課題を話し合う予定である。

実際の活動写真や動画等を示しながら説明することで、子どもの様子や活動内容がよく伝わり、より具体的な内容について交流することができた。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担当教職員)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

## ふるさとに誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成

彦根市	活動名： 稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:165 人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

子ども・家庭・地域・学校がどうつながりあって教育活動ができるのかを考えた。学校評価の結果から「自分に自信をもてる子どもを育てるために」をテーマにして、学校・家庭・地域でできることは何かについてグループ別で話し合った。子どもができるようになったことを認めほめること、できるようになった過程を分かりやすく伝えることなどが自信につながっていくということを共通認識した。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ○栽培活動支援

5月に、地域の方をお願い、栽培活動で使用する学年の畑の整備をしていただいている。今年度は、特別支援学級、1年生、2年生が栽培するサツマイモ畑を子どもたちと一緒に整備していただいた。そのおかげで立派なサツマイモを多く収穫でき、秋に焼き芋パーティーを開くことができた。特別支援学級では、学校運営協議会の方に販売する体験をもつことができた。



【栽培活動(さつまいもの苗植え)】

#### ○稲村かるたオリエンテーリング

10月に全校で、「稲村かるたオリエンテーリング」を行った。本年度は、上岡部町、田原町、出路町方面に出かけた。創立100周年記念に作られた「稲村かるた」に掲載されている寺院や史跡を、ボランティアや保護者とともに訪れ、建物を見学したり、地域の方やお寺のご住職から話を聞いたりして、豊かな歴史を肌で感じ取り、ふるさと「いなむら」を誇りに思う心をさらに高めることができた。

### ■ 事業の成果・展望

#### ○子どもたちの安心のために

・毎年、同じ事業で同じ地域のボランティアの方に支援していただいていることで、子どもたちは安心して地域の方と関わることができている。「身近な地域の人に教えてもらった」という意識をよリモつことができ、地域への愛着も深まっているように見える。「学校のために、子どもたちのために地域の方が支援してくださっていること」を、教職員が子どもたちに伝えることで、感謝の気持ちをもって地域の方に接している。  
 ・「稲枝北小学校のために！」と思ってくださる地域の方は多いが、ボランティアの高齢化が進んでいる。新しいボランティアの方の加入を積極的に進め、人材確保に努めている。



【稲村かるたオリエンテーリング】

### ■ その他

本校は、地域の方から様々な支援をいただいて教育活動を進めている。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域学校協働活動の一体的推進に向けて、学校と地域でより良い活動を今後も模索していきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)

## 自分らしさを輝かせる、あたたかな学びの場

彦根市	活動名：水曜放課後学習会	東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：図書室		開始年度：平成26年度	
年間開催日数：25日(開催ペース：週1日)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：24人		学習支援員等 平均人数：5人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

毎週水曜日の放課後の時間を利用して、生徒たちが自主的に学習できる場を提供する。基礎でつまづいている生徒には、学習支援ボランティアが寄り添い、学力を向上させる。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

生徒の自主性を尊重し、生徒が決めたことをやり遂げられるような支援を心がけた。「東中学校区地域学校協働本部」が主体となり、学校と相談しながら開催した。本部が作成したチラシを3年生の生徒に配布、保護者にtetoru配信し、参加を募った。部活動引退後の生徒が参加しやすいよう前期・後期制にし、後期は改めて参加者を募った。学習会後に、学習支援ボランティアから生徒一人一人のファイルにコメントを記入していただくことが、学びの振り返りや励ましにつながった。



【 学習会後のコメント記入時の様子 】

### ■ 事業の成果と今後の展望

個々の生徒の学力向上はもちろん、学習支援ボランティアによる丁寧な関わりが、受験期に不安定になりがちな生徒の心の支えとなった。今後は、地域の教育資源や人材を活用し、学校・家庭・地域が一体となった学習支援体制を構築することで、生徒たちが安心して学べる環境をさらに充実させていきたい。

### ■ その他

地域学校協働活動推進員が学習支援ボランティアをうまくコーディネートし、大変スムーズに運営が進んでいるが、学習支援員の高齢化が進み、今後、人材を確保することが難しくなることが懸念される。

報告書記入者( 教頭 )

## それぞれの「〇〇したい！」にあった支援で、学力アップ！

彦根市	活動名：くろがねもち教室	城東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：令和4年度	
年間開催日数：2日(開催ペース：夏季休業中)		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：32人/1日		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

3年生以上を対象とし、国語、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を目指す。夏季休業終盤の2日間、8時30分から実施。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1学期の学習状況を参考に、個々の課題に応じた問題等を準備し、取り組む。各学年2~3人体制で指導に当たり、それぞれの困り感に寄り添った個別の指導・支援を基本とする。



【 個別に指導を受けている様子 】

### ■ 事業の成果と今後の展望

友だち同士で話をしたりせず、自分の課題に集中して取り組むことができた。日頃から支援員としてかかわってくださっていたり、卒業生で教員を目指して教育実習生やチューターとして支援に来ている学生に指導を依頼したりすることで、子どもたちもよく知っている人なので安心して聞くことができた。それぞれが自分の課題を持ち寄り、「わかるようになりたい」という思いをもって参加することができ、全学期の学習の準備にもなり、効果的だった。

報告書記入者( 教頭 )

## 個に応じた学習支援 ～地域で育てる 佐和山っ子～

彦根市	活動名： さわやま教室	佐和山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 教室		開始年度: 令和3年度	
年間開催日数: 14 日(開催ペース: 月2～3日)		地域学校協働活動推進員数: 2人	
平均参加人数: 15 人		学習支援員等 平均人数: 5人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

佐和山小学校高学年児童で、主に算数科で学年相当の学習に苦手意識がある児童を対象に、学力の向上を目指して学力補充を行っている。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援

学習進度に合わせて予習・復習を行い、学年別に担当する学習支援員を大まかに決め、できるだけ同じ支援員が指導・支援にあたるようにしたことで、児童が安心して分からないところを聞ける関係を構築することができた。

最初の10分程度は宿題等に取り組み、分からないところを質問する時間とした。そして、次の5分を100マス計算の時間とすることで、学習に取り掛かりやすい雰囲気となった。また、終盤には振り返りを記入する時間を設け、学習に対する意欲や理解を深めることにつながった。

### ■ 事業の成果と今後の展望

高学年の希望者を対象としている。学期ごとに参加希望者を募り、保護者と担任で話し合って参加日程を決めている。昨年参加した児童が今年度も申し込み、積極的に学習に取り組んでいる。授業の予習、復習を本教室で行うことで、学習の楽しさや「わかる」「できる」という喜びを実感し、それが日々の授業への意欲にもつながっている。

今後の課題として、学習支援員の人材確保の難しさがあげられる。昨年度からの継続で確保できているところはあるが、少人数での個別支援という学習形態を続けていくためにも人材確保が必須である。

報告書記入者( 学ぶ力向上推進リーダー )

## 「進路を拓く学力向上推進活動」来たれ！地域未来塾

彦根市	活動名： 学力補充教室	西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 被服室		開始年度: 平成26年度	
年間開催日数: 14 日(開催ペース: 週・月2日)		地域学校協働活動推進員数: 2人(兼務1人)	
平均参加人数: 10 人		学習支援員等 平均人数: 4人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

学力補充を目的とした学習教室を開催した。放課後の時間を活用して学習支援員が個別の学習指導を行った。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

地域住民であり元教職員の学習支援員を動員し、豊富な経験と高い指導力を生かして生徒の学力向上を図った。

仲間や学習支援員の助言をもとに各自が学習課題を自身で準備することで、生徒の目的意識を明確にした。

全学年を対象にして、自主的に取り組める希望者を募り実施した。

異学年間の交流の場面を想定した学習会を実施し、未来の自分をイメージできる学習環境の設定を行った。

### ■ 事業の成果と今後の展望

困り感に寄り添った学習支援のあり方により、個に応じた学習支援が実施でき、学習意欲の向上が図れた。

地域の方との交流が深まった。

### ■ その他

今後、生徒と年齢が近い大学生等の学習支援員の確保に力を入れたい。



【 学習の様子 】

報告書記入者( 教頭 )

## 基礎・基本の定着をねらいとした学習支援

彦根市	活動名：放課後バックアップ教室	城西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：ふれあいホール		開始年度：平成 24 年度	
年間開催日数：14 日(開催ペース：月1～2日)		地域学校協働活動推進員数：2人(兼務1人)	
平均参加人数：8人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

3、4年生の希望者(保護者同意のもと)を対象に、算数科の基礎的・基本的内容の定着に向け、個別指導を主とした教室を年間14回開催した。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

プリントやドリルの基礎的・基本的内容を基本とし、個別指導を主とした学習支援を行った。  
教員も指導に入るにより、学校と地域が連携して教育を行う体制を組織することができた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

児童に個別に対応することができたため、その児童がもつ困り感に寄り添いながらバックアップ教室を実施することができた。  
児童が「分かる・できた喜び」を味わうことができたことにより、学習に対する苦手意識が少し軽減したように思う。

報告書記入者( 教頭 )

## 夏休みきらり学習教室 ～個別指導による学力補充学習～

彦根市	活動名：夏休みきらり学習教室	城北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：平成 26 年度	
年間開催日数：3日(開催ペース：年3日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：60人		学習支援員等 平均人数：15人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

実施日時：夏季休業中の3日間、(7月22日(火)、23日(水)、24日(木)のいずれも8時30分～10時00分まで)

目的：算数科を中心とした、個別の学力補充。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

算数科に絞り、個々の児童の苦手とする課題や児童が理解を深めたいと考える内容について、補充指導や問題演習を行った。

担任より個別指導が望ましいと考える児童の参加を中心とした。

近江高校の生徒に学習支援ボランティアをお願いした。

### ■ 事業の成果と今後の展望

地域の方々や近江高校生の協力のおかげで個別対応が可能となり、つまづきを的確に把握し、スモールステップできめ細かに支援することができた。本学習を通して、児童は「わかった!」「できた!」という思いを実感することができた。

また、年齢の近い高校生に丁寧に教えてもらったことで、学習への意欲を高めることができた児童も多いた。さらに充実した指導となるよう、学習支援員の確保に努めていきたい。



【 夏休みきらり学習教室の様子 】

報告書記入者( 教頭 )

## 子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所づくり

彦根市	活動名： 学び育ちLL教室	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 中地区公民館 年間開催日数: 44 日(開催ペース: 週1日) 平均参加人数: 10 人		開始年度: 平成 24 年度 地域学校協働活動推進員数: 1人 学習支援員等 平均人数: 10 人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

毎週月曜日の夜に地域の公民館で学習の補充を行った。自信をもたせ、自主的な学びへの動機づけや将来なりたい姿を見つけることをねらいとした。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1対1で学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切にして、子どものやる気を尊重した学びの場とした。固定した時間割は定めず、子どもの状況に応じて交流を目的とした活動を取り入れ、人間関係づくりも行った。

### ■ 事業の成果と今後の展望

個別の学力やモチベーションに合わせて学習を進めることで、主体的に取り組む場となった。また、個別の支援が必要な子どもや生活面での課題を抱えている生徒にとって、他者と関わったり自分を見つめたりする時間となり、地域での居場所となることができた。

### ■ その他

学校で使用する教科書の変更に伴い、対応できるように年度当初の教材整備に努めた。



【 学習の合間のクリスマス会 】

報告書記入者( 教頭 )

## 来てみる・やってみる

彦根市	活動名： 土曜教室 ・ てみる	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 技術室 年間開催日数: 7日(開催ペース: 月1~2日) 平均参加人数: 10 人		開始年度: 平成 26 年度 地域学校協働活動推進員数: 1人 学習支援員等 平均人数: 8人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

子どもたちへの学習補助だけでなく、学習支援員との対話を通じて学びへの動機づけや、将来なりたい姿を見つけることをねらいとした。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1対1または1対2を基本として、学習支援員との関係づくりを大切にして進めた。また、子どもの学びたいこと(教科や内容)を各自で用意させることで、主体的な学習となるようにした。2時間の学習の最後には子どもと学習支援員との交流の時間を設定し、カードゲームや知育ゲームを一緒に行うことで、コミュニケーションを深めるとともに子どもの自尊感情を高めた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

個別指導により、つまづきを的確に把握しながら学習支援を行い、基礎学力の定着を図ることができた。また、週休日の午前中に開催することで、生活リズムを整えたり、学習習慣の定着にもつなげたりすることができた。

### ■ その他

毎回終了後には、地域学校協働活動推進員が中心となって学習支援員や学校関係者と集約会議を行い、子どもとの関わりの質の向上に努めた。



【 関係づくりグッズ 】

報告書記入者( 教頭 )

## 地域と学校がつなく、未来への学びの場 「水曜ゼミ」

彦根市	活動名：南中未来塾・水曜ゼミ	南中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南中学校		開始年度：平成29年度	
年間開催日数：11日(開催ペース：週1日)		地域学校協働活動推進員数：2人(兼務1人)	
平均参加人数：20人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

放課後学習「水曜ゼミ」(11～2月)は、3年生を対象に進路実現に向けて基礎的な学力を身に付けるために、プリントを使って学習している。基本、週に1回のペースで実施している。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

学習支援員は、教員や地域住民、近隣大学の学生が協力し、個別学習を支援している。水曜ゼミでは、県立入試問題集や国語・数学・英語の基礎プリントを活用し、生徒一人一人の学習課題に応じた指導を行うことで、学校・地域・大学が連携した学びの場を実現している。

### ■ 事業の成果と今後の展望

一人で家庭学習することが難しい生徒にとって、放課後の学習の場となり、学習支援員に積極的に質問するなど意欲的な姿が見られるようになった。一方、参加生徒数に対して学習支援員が不足する日があり、安定した人材確保が課題である。今後は校区内の大学と連携し、学習支援員を確保できる体制の構築を検討する。また、生徒用端末の活用についても、学習の質を高めるための取組を進めていきたい。



【 地域の方から学ぶ生徒の学習の様子 】

報告書記入者( 教頭 )

## 個に応じた学力補充教室（算数科を中心として）

彦根市	活動名：亀山学力補充教室	亀山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：亀山ホール		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：5日(開催ペース：学期末)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：9人		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

4～6年生を対象に、算数科の学力補充を目的とした学習教室を行った。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

担任や担当教員と連携を図り、個に応じた学習課題を把握し、問題演習や個別指導を行った。主に、当該学年以前のつまづきが見られる単元に絞り、児童自身が「わかってきた」、「できるようになった」と実感できることを大事にしながら学習を進めた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

個に応じた学習支援ができ、学習意欲の向上につながった。

同じ町内で顔見知り程度だった地域の方が支援に来てくださり、交流する機会となった。本年度は、実施時期を懇談期間に設けたため、空いている午後の時間にゆとりをもって時間設定することができた。来年度もこの方向で実施していきたい。

### ■ その他

下校時刻が他の児童と異なり、少人数での実施のため集団で下校することができず保護者の送迎が必要になる。送迎ができない児童は教師が同行しているため、下校への教師の負担がある。



【 学習の様子 】

報告書記入者( 教頭 )

## 自ら学び、根気強くやりぬく生徒の育成を目指して

彦根市	活動名：彦根中地域未来塾	彦根中学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：被服室		開始年度：平成29年度	
年間開催日数：32日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員等数：2人	
平均参加人数：20人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他( ) ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他( ) ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他			

### ■ 活動の概要と目的

毎日の授業だけでは十分に学力定着に結びつかない生徒も多く、学習習慣が定着していないことで、何を学習してよいのかわからない生徒も多数いる。そこで、地域の方々や大学生等の協力を得て、一人一人の学力に応じた学習を個別対応で進め、学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

夏季休業中の補充教室と質問教室は、全学年で5日間実施し、特別教室にて生徒の自主学習に対する支援を行った。3年生の放課後学習会では、10月から毎週火・木曜日を基本にして、生徒が持参する学習教材に対する支援を、学習支援員と教員が行った。学習支援員については、昨年度も協力いただいております。本校の雰囲気も理解いただいた上で生徒とのつながりを持つことができている。また、新たに募集した地域ボランティアにも協力いただけた。



【 放課後学習会 】

### ■ 事業の成果と今後の展望

【事業の成果】学習支援員に積極的に質問するだけでなく、同じ机の生徒同士で教え合う姿も多く見られた。

【今後の展望】ICTを活用したボランティア登録制度を今年度より取り入れたが、学習支援員の十分な人数の確保には至っていない。次年度以降も登録制度以外の方策を考え、協力いただける人員の確保に努めたい。

### ■ その他

3年生の放課後学習会では参加希望者が多く、曜日別に参加者を分けて実施した。

報告書記入者( 教頭 )

## できたを実感！ 九九マスター教室

彦根市	活動名：九九マスター教室	河瀬小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：2年生教室・少人数教室		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：10日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員等数：1人	
平均参加人数：94人		学習支援員等 平均人数：1人	
・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 ■その他(九九カード) ・教室の持ち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 ■その他( 昼休み・掃除時間 ) ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 □地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他			

### ■ 活動の概要と目的

2年生児童のかけ算九九の定着を図る。

個別の学習支援。

プリントを採点する。

かけ算九九の定着を図る。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

本校に教育実習に来た地元在住の大学生に声をかけ、学習支援を依頼した。

2年生の最重要課題であるかけ算の九九は、次学年のわり算にもつながるので、しっかりと習得できるように、個別の進度に合わせて支援をしていただいた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

従来は担任が1人で暗唱できているか確認をし、カードに合格シールを貼っていたが、担任と支援員の2人体制で聞くことができ、効率的に習得することができた。

子どもたちにとっても担任以外の先生に九九を聞いてもらえることで、よい緊張感の中で取り組むことができ、何度も挑戦する姿が見られた。

### ■ その他

今後も、学習補充教室以外にも、学年・教科・活動を特化して、学習支援をしていただく機会を模索していきたい。



【 九九マスター教室 】

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域と学校を結ぶ鳥居本地域未来塾

彦根市	活動名：学力補充・質問教室	鳥居本中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：各教室		開始年度：平成24年度	
年間開催日数：12日(開催ペース：夏季休業中)		地域学校協働活動推進員数：4人	
平均参加人数：8人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

生徒の学力の補充を目的として、長期休業中に、学習支援員と教員と一緒に実施している。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

学力の補充が必要な生徒に、担当教員から参加勧誘の声をかけた。保護者にも学習支援員として協力していただけるよう、プリントを配布して募集を行った。

### ■ 事業の成果と今後の展望

生徒は、丁寧に分かりやすく教えてもらっていると好評である。  
 地域の方も、中学生に学習を教えることで喜んでもらえる充実感がある。  
 学習を通して、地域の方と中学生が交流できる。

### ■ その他

学習支援をしてくださる地域の方が、限定されている。学生の支援員がいないため、どのように確保するかが課題である。平日の放課後等の実施は、行事や時間設定、人員の確保等の面から、難しい現状にある。



【 学力補充教室 】

報告書記入者( 教頭 )

## 輝く笑顔 一人一人の「わかった！」をめざして

彦根市	活動名：夏休み国語算数教室	鳥居本小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：各教室		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：3日		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：20人		学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

国語科・算数科の基礎基本の学力の定着を目的として、夏季休業中の3日間(7月22日(火)、23日(水)、24日(木))、いずれも、8時30分～10時20分まで実施した。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

基礎基本の内容に特化した補充指導や問題演習を行う。間違いやつまずきに個別に対応し、「わかった」を実感できるよう、きめ細かな支援をする。学習支援に参加いただいた地域の方から「できたな！」「すごいやん！」という声をかけていただき、次へと向かう姿が多く見られた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

学習そのものに苦手意識があり、基礎基本の積み上げが困難な児童が参加しているため、スモールステップの学習活動を仕組み、褒め認める言葉かけにより成就感や達成感を実感できるよう支援した。その結果、一つひとつを積み上げることの大切さに目を向ける児童の姿も見られた。

2学期からの学習につながることを考えると、基礎基本の徹底が重要となる。九九の習得を第一として、その習得が自信につながる機会としたい。また、よりきめ細かな対応が充実するよう、支援いただける方の確保に努めたい。



【 個別の学力補充 】

報告書記入者( 教頭 )

## 生徒と指導者、生徒同士で教え合い、学び合う態度を培う学習塾

彦根市	活動名：地域未来塾	稲枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：多目的室、図書室 年間開催日数：21日(開催ペース：週1・月4日) 平均参加人数：14人		開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員数：2人 学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

中学3年生の受験対策、塾等に行かない生徒の学力補充。基本的な課題をドリル形式で学習し、方法のわからない生徒に寄り添いながら指導を行う。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

回を重ねるごとに、講師に質問をする生徒が増え、未来塾そのものを待ち遠しく感じてくれるようになってきた。気軽に質問したり、日頃の悩みを話してくれたりする。

### ■ 事業の成果と今後の展望

午後3時開始ではあるが、20分前ぐらいには多くの生徒が集まり、自主的に学習を進めるようになった。

教員不足から退職後も学校現場で働く方が多いので、学習支援員講師を探すことに苦労する。大学に依頼するが、なかなか支援員を確保することが難しい。



【 学習風景 】

報告書記入者( 地域学校協働活動推進員 )

## 子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動「かがやき教室」

彦根市	活動名：かがやき教室	稲枝東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：音楽室 年間開催日数：11日(開催ペース：月1, 2日) 平均参加人数：25人		開始年度：(平成)30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 学習支援員等 平均人数：5人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( ) ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( ) ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

4・5年生の児童を対象に、9月から1月を期間として月に1, 2回程度の学力補充の時間を計画した。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

- ・児童は、自分の課題に合った学習課題に取り組み、学習支援員は児童の困り感や質問に応じて、個別の学習支援を行った。教員は丸付けを中心にを行い、学習支援員が児童とのかかわりをより多く持てるように心がけた。
- ・担任からの聞き取りをもとに、事前に児童がつまづきを感じている学習内容を何種類か選び、プリントを作成する。



【 学習支援の様子 】

### ■ 事業の成果と今後の展望 ■ 活動の概要と目的

- ・担任からの聞き取りをもとに学習プリントを絞り準備したことで、苦手な内容の克服に一定の成果が見られた。
- ・少人数のよさを生かして個に応じた支援を行うことができたが、人数が増えるとその効果がやや弱くなる。人数を考慮していくことが必要。
- ・年間を通して個人の成長を記録し、どのように個に応じた支援につなげていくかが今後の課題である。

### ■ その他

本校の取組について、日々の学校生活の様子と併せて稲枝東小学校ホームページにて紹介しています。

<https://www.fureai-cloud.jp/inaehigashi-hikone/>

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## わくわく はえみ学習

彦根市	活動名：ホップタイム	稲枝西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室		開始年度：令和2年度	
年間開催日数：5日(開催ペース：月1日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：21人		学習支援員等 平均人数：6人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

確かな学力の定着と苦手な学習内容の復習

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

1クラスに1～2名の指導者を配置した。課題は学習内容に合わせて難易度を分けて用意したり、教科書、ドリルの問題を使用したりした。学年の学習内容やテストに合わせて学習課題を準備することで、子どもたちも目標をもって取り組むことができた。

また、学級での既習内容について確かめたり、振り返ったりすることもできた。

### ■ 事業の成果と今後の展望

1クラスに支援員を2名配置することで、充実した個別学習支援をすることができた。また、子ども同士で教え合ったり、励まし合ったりする場面も見られ、難しい問題でも自分の力で最後まで取り組もうとする粘り強さが育っている。

学期ごとの日程調整や内容確認を早めに行ったことで、計画的に取り組むことができた。

### ■ その他

元教員の方が多く、一人ひとりにきめ細やかなサポートをしていただくことができた。ホップタイムによって自信をもつ子どもの姿を通して、地域の力に支えられていることを改めて実感した。



【 ホップタイム 】

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 「できる・分かる」楽しさと喜びを味わわせ、子どもたちの学意欲を高める

彦根市	活動名：ぐんぐんクラブ	稲枝北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：2年教室、4年教室		開始年度：平成27年度	
年間開催日数：16日(開催ペース：週2日)		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：6人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他( )			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他( )			
・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

少人数による個別指導で「できた・わかる」楽しさと喜びを味わわせ、児童の学ぶ意欲を高めることができるようにする。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動や学習支援内容

課業日の月曜日(1～3年)水曜日(4～6年)、学期ごとに参加児童を募集し、定員を6名程度までとして学習支援ボランティアによる指導を行う。算数科を中心に宿題をしたり、個に応じた課題(プリント等)を準備して実施したりして個別の進度で学習を進める。

### ■ 事業の成果と今後の展望

学習に苦手意識のある児童、集団の一斉学習では学習内容の習得が困難な児童への個別支援が充実した。分からないことをその場ですぐに聞いたり、やり直したりすることで、「できる・わかる」という実感をもたせることができた。また、個別に復習等に取り組むことで理解が進み、児童の学習意欲も高まった。

### ■ その他

地域学校協働活動推進員の尽力により、現在の学習支援者に関わってもらっているが、今後の人材確保が課題となっている。

報告書記入者( 教頭 )



【 ぐんぐんクラブ(下学年) 】

# 学校運営協議会の充実に向けて

令和6年10月(令和8年2月改訂) 彦根市教育委員会事務局生涯学習課

## 学校運営協議会の充実に向けて



コミュニティ・スクールが始まったけれど、  
学校運営協議会が何だかうまく進まないな...

- △委員のみなさんのコミュニティ・スクールに対する理解が不十分な気がするな...
- △委員のみなさんの当事者意識が低く、学校評価委員会のように学校に対する意見や批判が多いな...
- △「熟議」の時間が足りず、具体的な活動の内容まで話し合えていないように思うな...
- △話し合いの方向性が明確にならず、思いついたことを話す場になっている気がするな...
- △一部の委員の意見で会が進められているように思うな...
- △司会の学校職員が会議や活動を進める中心になっているけど、これでいいのかな...
- △「熟議」を意識して、会議資料を作りたいけど、どうしたらいいのかな...
- △委員以外の教職員と委員とのつながりが弱い気がするな...

こんなことはありませんか？

## 学校運営協議会 <開催前>

- ☑ 学校と会長・副会長・地域学校協働活動推進員が**事前に必ず打ち合わせ**をして、会議の方向性を確認しましょう。
- ☑ **学校評価**も「熟議」のテーマにそった項目についてのみ示すなど、配布資料に工夫をしましょう。
- ☑ 新しく作成するばかりではなく、**配布した資料も有効活用**しましょう。  
(保護者へのチラシや、学校だよりなど)
- ☑ 時間配分は適正か、「熟議」の**時間の確保**ができているか、確認しましょう。  
(60分で設定されていた協議会では、「熟議」の時間が足りないといった声も聞かれました。90分程度が望ましいです。)
- ☑ **児童生徒の意見**や委員以外の**教職員の意見**も反映できないか考えてみましょう。  
(生徒が参加して一緒に話し合う、当事者の参加や教職員から事前に意見を聞いておくなど)
- ☑ 話し合いのテーマによっては、**委員以外の教職員の参加**も検討しましょう。
- ☑ 「いつもの会議室」ばかりでなく、**必要に応じた会場**を設定しましょう。  
(実際に活動が行われている部屋やアクティブラーニング教室など)
- ☑ 連絡を取りやすくするため、**連絡の方法やweb参加も可能にできるよう開催方法**も検討しましょう。



2

## 学校運営協議会 <市内の協議会の様子①>



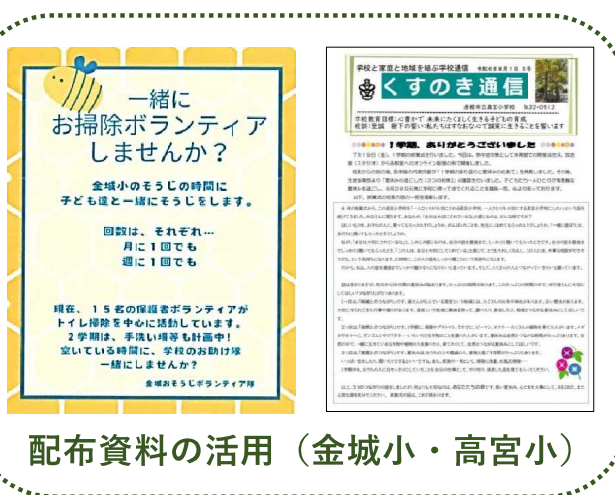
中学生との意見交換会（西中・東中）



テーマに関わる講師の招聘（南中）



地域の方の活動場所での開催（稲枝東小）



配布資料の活用（金城小・高宮小）

## 学校運営協議会 < 会議中 >

- ☑ すべての委員が**当事者意識**をもって「熟議」に参加できるよう、協議会の進め方などを工夫しましょう。  
(例：少人数でのグループワーク、付箋を活用したKJ法など)
- ☑ 地域の委員に**協議会の役割**を委ねていきましょう。  
(例：「協議事項」や「熟議」の進行は会長が行う、グループワークのリーダー、ホワイトボードにまとめてもらうなど)
- ☑ 「熟議」の**テーマ**や**学校教育目標**、**目指す子ども像**など協議会を進めるにあたって中心となる部分は、委員が意識できるように工夫をしましょう。  
(視覚的に訴えるような掲示物の工夫、資料の配布、会の最初での再確認など)
- ☑ 「熟議」の**時間が充実**するよう、教職員が進行役をサポートしましょう。
- ☑ **視聴覚機器**を有効に使って、会議を効率よく進めましょう。
- ☑ 出された意見や内容は、**委員で共有**できるように工夫しましょう。  
(黒板やホワイトボード、視聴覚機器の有効活用を)



4

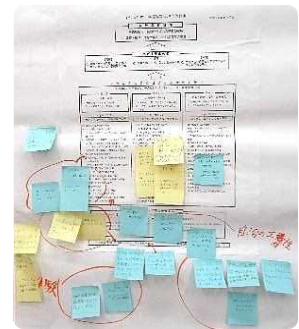
## 学校運営協議会 < 市内の協議会の様子② >



ホワイトボードの活用 (城東小)



グループワーク・KJ法 (城南小)



AL教室における視聴覚機器の有効活用 (城北小)



地域学校協働活動の後に学校運営協議会を開催 (彦根中)

# 学校運営協議会 <開催後>

- ☑ 協議会で話し合われたことなどは、**委員以外の教職員にも共有**しましょう。
- ☑ 欠席された委員にも**協議会の内容を共有**しましょう。
- ☑ 協議会で議論した内容をもとに、**できることから具体的な地域学校協働活動**につなげられるよう、**地域学校協働活動推進員と連携**していきましょう。
- ☑ 協議会の様子や具現化したことは、**ホームページなどで地域に積極的に発信**し、活動の輪を広げていきましょう。

「地域とともにある学校づくり」

「学校を核とした地域づくり」

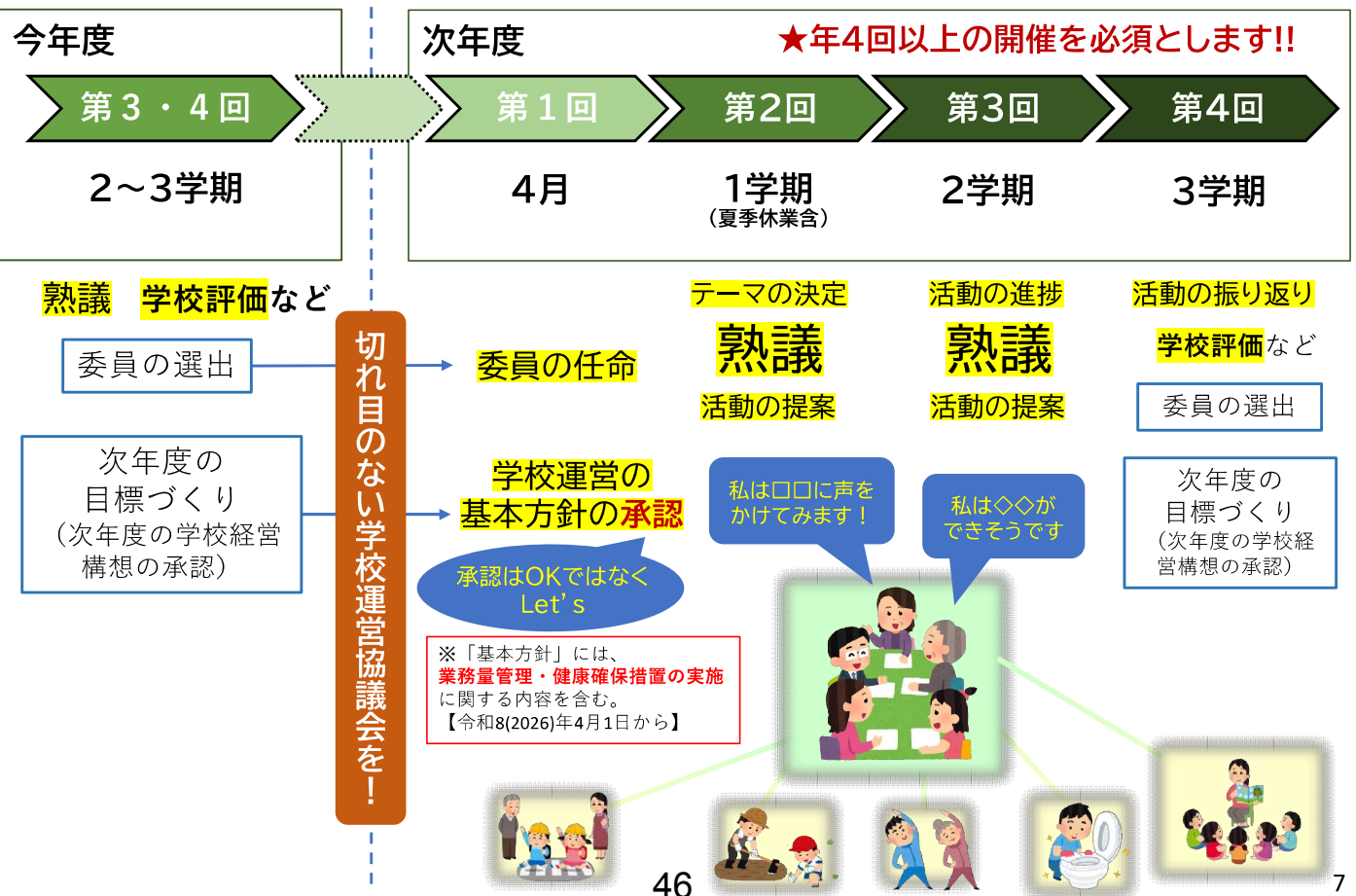
学校

地域



「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」を目指しましょう!

## 次年度に向けて・・・年間計画例

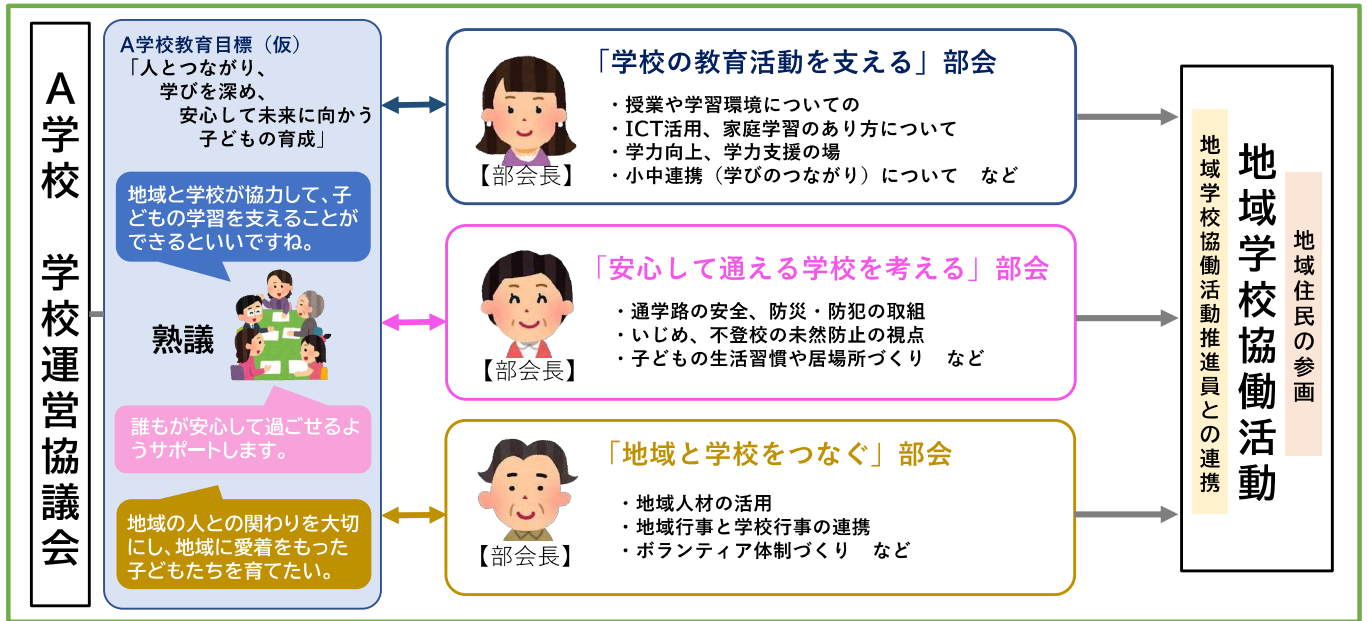




# 学校運営協議会を一步前へ進めるために 【③ 部会の設置】

★当事者意識をもって活動できる体制になっていますか？

(例)



## ポイント

部会を設置することで、当事者意識をもちやすく、自分の役割が明確になることで、実際の活動（地域学校協働活動）につながりやすくなります。

10

# 学校運営協議会を一步前へ進めるために 【④ 年間計画の共有】

★年間の学校行事と地域行事の情報を共有し、地域とともにある学校づくりに生かしていますか？

令和7年度 学校行事等 実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校行事等	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式
地域行事等													

**地域行事等**

地域行事とのつながりを意識できます◎

総合的な学習の時間の学期ごとの計画で、地域の方は見通しがもてます◎

年間計画表（平田小）

## ポイント

既存の年間計画を活用し、地域とのつながりを意識した計画にアップデートすることで、地域と学校が子どもの学習計画を共有することができます。地域の代表（連合自治会長等）と地域の情報を共有することで、作成の負担も減ります。

できることから一歩ずつ

小さな成功例を重ねる

## CSと地域学校協働活動が一体的に推進できているとは、ということ？

### ①体制整備

- ・多様な意見（保護者、地域住民、教職員、児童・生徒等）を吸い上げ、教育課程や学校運営の充実をはかる方策や、評価や改善方策について協議する学校運営協議会が設置されていること
- ・広く地域住民や学校関係者が、子供や学校をめぐる課題や、目指す子供像や学校の教育目標について、話し合い、共有する機会が定期的に設けられていること
- ・学校運営協議会の一員として、地域活動等とつながりを持つ地域学校協働活動推進員が委嘱されていること

### ②教育目標を共有したうえで、地域学校協働活動を実施

- ・教育目標に基づきながら、学校教育の充実・改善（学校運営協議会）と、社会教育や地域活動の充実・改善（地域学校協働本部、公民館や自治会、まちづくり協議会等）が協議され、活動が展開されていること
- ・連携による取組を拡充するばかりでなく、内容や役割の分担・見直し、廃止等についても話し合えること

→地域住民が、子供や学校をめぐる現代的な課題や最新動向に関する情報等をアップデートする学習機会が必須

### ③教育課程（社会に開かれた教育課程）の開発

- ・教育目標を達成するための魅力的な教育計画や授業づくりが、地域（企業やNPO、他の教育・専門機関含む）からのアイデアや資源を活用しながら開発され、その成果等の評価・改善についても地域とともに実施されていること

→総合的な学習の時間、総合的な探究の時間等は、その重要な入口

カギとなるのは、当事者意識を持って、多様な他者と関わりながら、学校・子供をめぐる教育課題に取り組む大人の存在

出典：国立政策研究所 志々田まなみ総括研究官 地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

## 彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員会設置要綱

### (名称)

第1条 この委員会は、彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 実行委員会は、幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（以下「地域学校協働活動」という。）を推進することを目的として設置する。

### (任務)

第3条 実行委員会は、市域での概ね次の各号の事項について調査・研究・協議を行うものとする。

- (1) 事業全体の企画・運営・調査研究に関すること
- (2) 地域学校協働活動推進員、学校支援ボランティアの養成及び連絡調整に関すること
- (3) 事業成果の報告に関すること
- (4) 事業の評価に関すること
- (5) その他必要と認められること

### (組織)

第4条 実行委員会の委員は、次に掲げる者のうちから25名以内で組織する。

- 2 彦根市教育委員会教育長が委嘱する行政関係者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者（地域学校協働活動推進員、学校運営協議会関係者）等をもって構成する。

### (役員)

第5条 実行委員会に委員長1名、副委員長1名を置く。

- 2 委員長は、実行委員会を代表して会務を総括する。副委員長は、委員長を補佐する。

### (任期)

第6条 委員の任期は、就任した日から当該年度の3月31日までとする。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 実行委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 会議は、委員長が必要と認めた者に参加を依頼することができる。
- 3 必要に応じて教育委員会内関係職員による連絡会議を開くことができる。

(部会)

第8条 実行委員会に、必要に応じて専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会の委員は、実行委員会の委員のほか委員長が必要と認めた者をもって充て、委員長が指名する。
- 3 専門部会に関する必要な事項は、委員長が定める。

(庶務)

第9条 実行委員会の庶務は、彦根市教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるものの他に、実行委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、令和5年(2023年)4月1日から施行する。

# 令和7年度彦根市地域学校協働活動推進事業実行委員名簿

順不同敬称略 ※勤務校変更

	氏名	役職	委嘱・任命	継・新
1	富永 美砂穂	東中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
2	竹内 彰	西中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
3	北村 直久	中央中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
4	片岡 高志	若葉小学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	新規
5	平塚 寿和子	彦根中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
6	寺村 重一	鳥居本中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
7	山田 孝	稲枝中学校 地域学校協働活動推進員	委嘱	継続
8	松居 良枝	東中学校 教頭	任命	新規
9	林 慎一	西中学校 教頭	任命	新規
10	宮川 智代	中央中学校 教頭	任命	新規
11	関本 美智子	若葉小学校 教頭	任命	新規
12	三宅 草	彦根中学校 教頭	任命	継続
13	永井 慎太郎	鳥居本中学校 教頭	任命	継続
14	山中 健児	稲枝中学校 教頭	任命	継続※
15	林 宏	城東小学校 校長（校長会）	任命	継続
16	宮崎 良雄	西中学校 校長（校長会）	任命	継続
17	東野 了賢	学校教育課 課長	任命	継続
18	西川 真由美	生涯学習課 課長	任命	新規
19	川添 義夫	生涯学習課 主幹	任命	継続
20	中川 絵美	生涯学習課 主査	任命	継続

## 令和7年度 彦根市地域学校協働活動推進員

	地域学校協働活動推進員名	通算経験 年数 (○年目)	対象事業		対象校区	
			地域学校 協働本部	地域未来塾	中学校	小学校
1	富永 美砂穂	15	○	○	東	
2	田中 二三代	4	○	○	東	
3	角 寿賀子	7	○	○		城東
4	林 尚子	1	○	○		城東
5	安河内 美沙子	12	○			佐和山
6	橋野 賀代	8	○	○		佐和山
7	岡崎 みか	8	○			旭森
8	山中 一男	2	○			旭森
9	竹内 彰	3	○		西	
10	青柳 久美子	5	○	○	西	城西
11	尾田 英昭	12	○			城西
12	前川 俊行	2	○	○		城北
13	北村 直久	7	○		中央	
14	柴田 雅美	9		○	中央	
15	平野 美喜	1	○			平田
16	瓜生 剛	1	○			金城
17	木ノ内 江以子	15	○	○	南	
18	寺村 和代	7	○		南	
19	永井 嘉和	8	○			城南
20	伊豆 慶子	1	○			城陽
21	高田 祐美子	1	○	○		亀山
22	片岡 高志	1	○			若葉
23	小林 朱実	8	○			若葉
24	平塚 寿和子	10	○	○	彦根	
25	米田 紀代子	8	○	○	彦根	
26	馬場 英一	6	○			高宮
27	澤田 勘一	6	○	○		河瀬
28	寺村 重一	2	○	○	鳥居本	
29	小嶋 麻衣子	5	○	○		鳥居本
30	飯田 一郎	1	○	○		鳥居本
31	北川 浩志	14	○		稲枝	
32	山田 孝	3	○	○	稲枝	
33	小西 喜雄	4	○	○		稲枝東
34	西田 吉雄	3	○	○		稲枝西
35	吉田 清	2	○	○		稲枝北

令和7年度

「学校を核とした地域力強化プラン」  
地域学校協働本部事業 地域未来塾事業  
実践事例集

発行 令和8年(2026年)3月  
彦根市教育委員会事務局生涯学習課  
TEL 0749-24-7974 FAX 0749-23-9190  
E-mail syogai@mx.hikone.ed.jp